

3. 整備要領

	ページ
3-1 エンジン	2
1 フューエルインジェクション (フューエルシステム)	2
2 メカニカル	3
3 インテーク (インダクション)	5
3-2 オートマチックトランスミッション	6
1 概要	6
2 車上整備	17
3 オイルポンプ	28
4 デファレンシャル ASSY	31
5 フロントクラッチ ASSY	38
6 フォワードクラッチ ASSY	42
7 ワンウェイクラッチ	45
8 ブレーキバンド	50



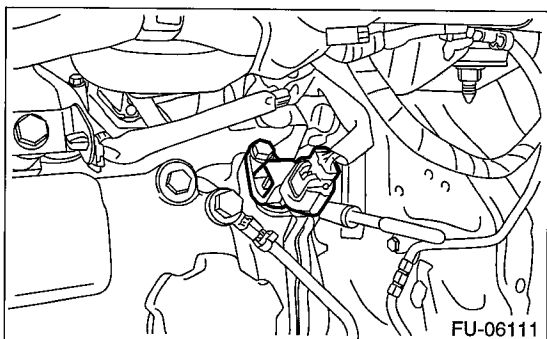
3-1 エンジン

1 フューエルインジェクション (フューエルシステム)

[1] カムシャフトポジションセンサー

A: 取外し

- 1) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2) バンパー (エンジンフード) を開ける。
- 3) カムシャフトポジションセンサーからコネクターを切離し、カムシャフトポジションセンサーを取外す。



B: 取付け

- 1) 取外しの逆手順で行う。

参考:

新品の O リングを使用する。

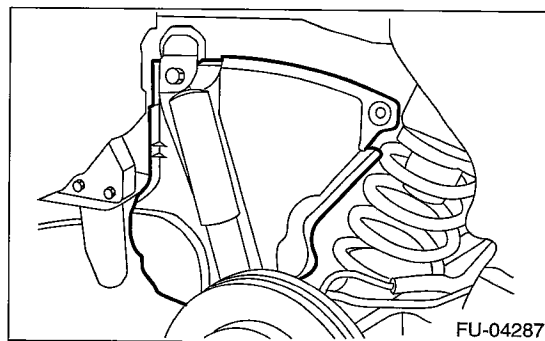
締付けトルク:

8 N·m (0.8 kgf-m, 5.9 ft-lb)

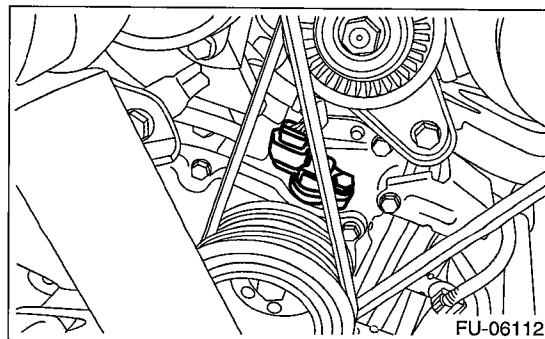
[2] クランクシャフトポジションセンサー

A: 取外し

- 1) 車両をリフトにセットする。
- 2) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 3) 車両をリフトアップする。
- 4) リヤホイール RH を取外す。
- 5) エンジンルームカバーを取外す。



- 6) クランクシャフトポジションセンサーからコネクターを切離し、クランクシャフトポジションセンサーを取外す。



B: 取付け

- 1) 取外しの逆手順で行う。

参考:

新品の O リングを使用する。

締付けトルク:

8 N·m (0.8 kgf-m, 5.9 ft-lb)

2 メカニカル

[1] V ベルト

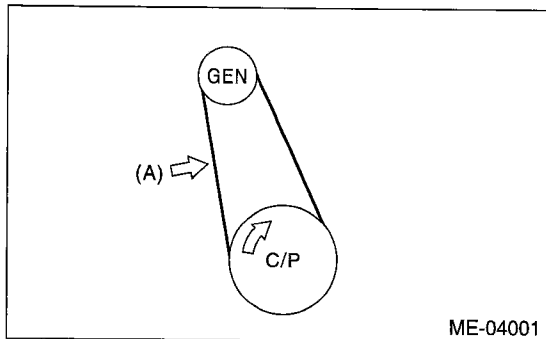
注意:

ベルトの張力は、必ず規定の範囲内になるように点検および調整を行うこと。規定の範囲外の張力で使用した場合、下記のような故障に至る可能性がある。

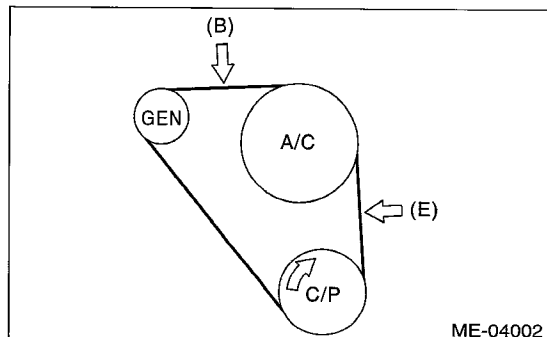
- ベルトの張力が強い場合、各プーリーの軸受部に想定外の力が発生し、軸受部の異常摩耗による異音の原因になる。
- ベルトの張力が弱い場合、ベルトとクランクプーリーがスリップを起こし、クランクプーリーが摩擦熱によって異常高温になる。この状態が繰返されるとベルトの異常摩耗が発生し、異音、ベルトの損傷およびクランクプーリーの破損の原因になる。

- 1) エンジン運転時に、ベルトの波打ちや横ぶれ回転しないか、ベルトのゆるみとアライメントを点検する。
- 2) ベルトの亀裂、破損、油などの付着を点検し、損傷のひどい物は交換する。
- 3) ベルトのたわみ量および張力を点検する。

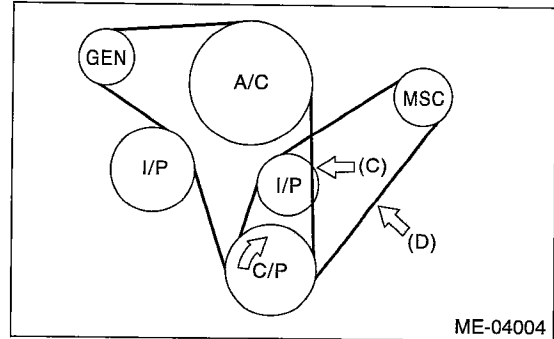
• NA モデル (A/C 無モデル)



• NA モデル (A/C 付モデル)



• MSC モデル



- (A) たわみ量および張力測定箇所
- (B) たわみ量測定箇所
- (C) たわみ量および張力測定箇所
- (D) たわみ量および張力測定箇所
- (E) 張力測定箇所

- C/P クランクプーリー
- GEN オルタネータープーリー
- A/C A/C コンプレッサープーリー
- I/P アイドラプーリー
- MSC スーパーチャージャープーリー

手押しによるたわみ量基準値
(押し力 98 N (10 kgf, 22 lbf))

測定箇所	新品	継続使用品
(A)	7.5～10.5 mm (0.295～0.413 in)	10.5～13.5 mm (0.413～0.531 in)
(B)	5.0～6.0 mm (0.197～0.236 in)	6.0～7.0 mm (0.236～0.276 in)
(C)	4.0～5.0 mm (0.157～0.197 in)	4.0～6.0 mm (0.157～0.236 in)
(D)	5.5～6.5 mm (0.217～0.256 in)	6.5～7.5 mm (0.256～0.295 in)

ベルトテンションゲージによるベルト張力基準値

測定箇所	新品	継続使用品
(A)	390～490 N (40～50 kgf, 88～110 lbf)	290～390 N (30～40 kgf, 65～88 lbf)
(C)	590～690 N (60～70 kgf, 132～155 lbf)	490～590 N (50～60 kgf, 110～133 lbf)
(D)	640～740 N (65～75 kgf, 144～166 lbf)	540～640 N (55～65 kgf, 121～144 lbf)
(E)	440～540 N (45～55 kgf, 99～121 lbf)	340～440 N (35～45 kgf, 76～99 lbf)

4) たわみ量および張力が基準値を外れる場合は、ベルトの張りを調整する。

(1) オルタネーター用ベルト (NAモデル) およびオルタネーター、A/C用ベルト (NAモデル)

オルタネーター固定ボルトをゆるめ、オルタネーターをアジャストさせて、ベルトの張りを調整する。

締付けトルク：

オルタネーター

25 N·m (2.5 kg-m, 18.4 ft-lb)

19 N·m (1.9 kg-m, 14.0 ft-lb) (アジャスト側)

(2) オルタネーター、A/C用ベルト (MSCモデル)

アイドルプーリーおよびアイドルプーリーステア固定ナットをゆるめ、アイドルプーリーを移動させて、ベルトの張りを調整する。

締付けトルク：

アイドルプーリーステア

20 N·m (2.0 kg-m, 14.8 ft-lb)

(3) スーパーチャージャー用ベルト (MSCモデル)

ベルトテンショナーロックナットをゆるめ、アジャスターボルトによりベルトテンショナーを移動させて、ベルトの張りを調整する。

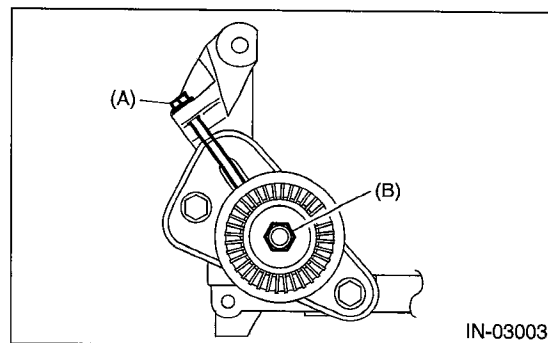
締付けトルク：

ベルトテンショナーロックナット

42 N·m (4.3 kg-m, 31.0 ft-lb)

アジャスターボルト

8 N·m (0.8 kg-m, 5.9 ft-lb)



IN-03003

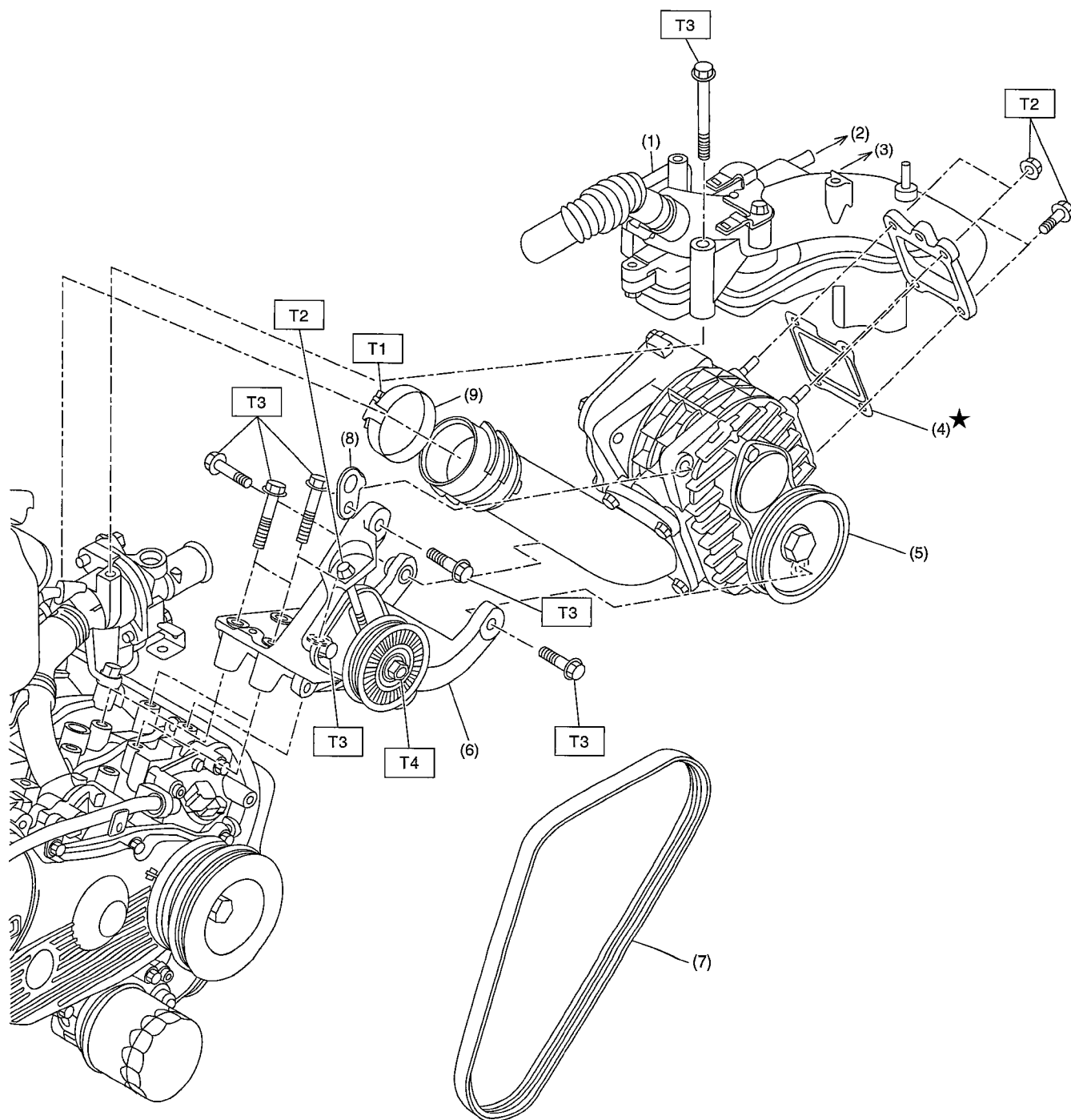
(A) アジャスターボルト

(B) ベルトテンショナーロックナット

3 インテーク（インダクション）

[1] スーパーチャージャー

A: 構成部品



IN-03002

- (1) エアインテークダクト ASSY
- (2) ブレーキブースターホースへ
- (3) AWD 切替えホースへ
- (4) ガasket
- (5) スーパーチャージャー ASSY

- (6) スーパーチャージャーブラケット
- (7) V ベルト
- (8) エンジンハンガー
- (9) クランプ

締付けトルク : N・m (kgf-m, ft-lb)

T1 : 3 (0.3, 2.2)

T2 : 8 (0.8, 5.9)

T3 : 19 (1.9, 14.0)

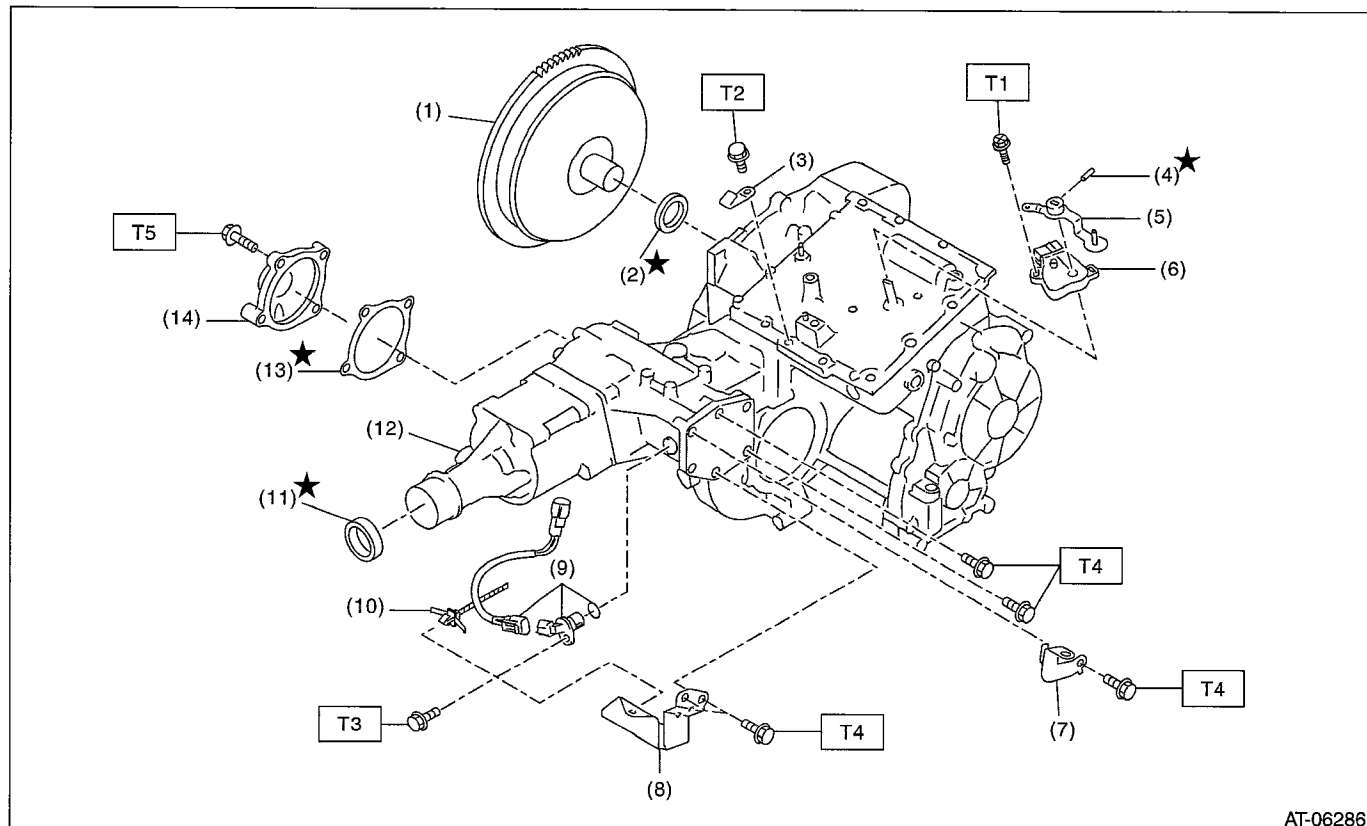
T4 : 42 (4.3, 31.0)

3-2 オートマチックトランスミッション

1 概要

[1] オートマチックトランスミッション

1. トルクコンバーター & トランスミッション外装部品 1



- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) トルクコンバーター | (8) センサープロテクター |
| (2) オイルシール | (9) 車速センサー |
| (3) ハーネスクリップ | (10) ハーネスクリップ |
| (4) スプリングピン | (11) オイルシール |
| (5) シフターアーム | (12) トランスミッションASSY |
| (6) インヒビタースイッチ | (13) ガasket |
| (7) ハーネステア | (14) トランスファーサイドカバー |

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)

T1 : 3.3 (0.3, 2.4)

T2 : 7 (0.7, 5.2)

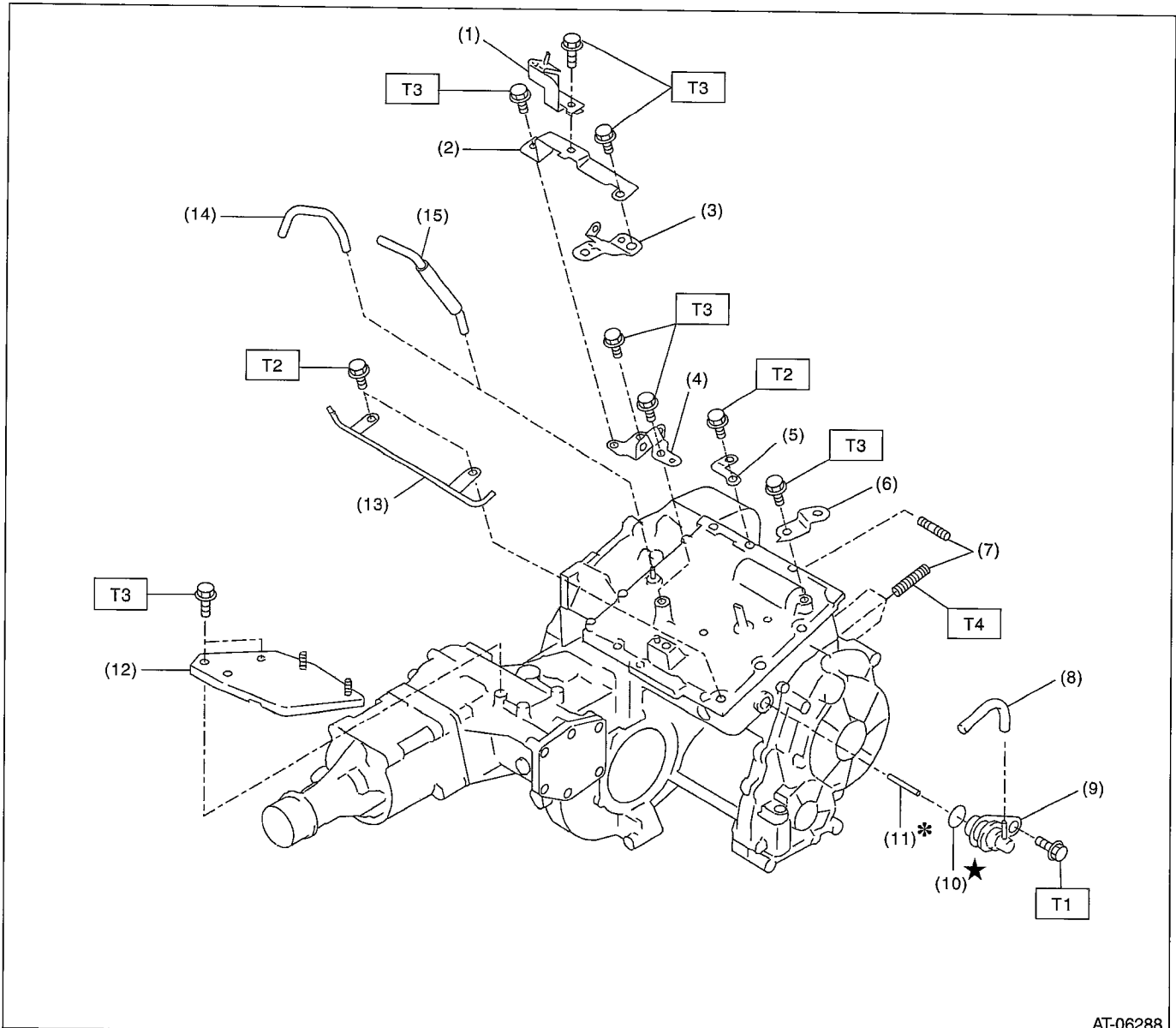
T3 : 6.9 (0.7, 5.1)

T4 : 18.5 (1.9, 13.6)

T5 : 29 (3.0, 21.4)

オートマチックトランスミッション

2. トランスミッション外装部品 2



AT-06288

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| (1) エアブリーザーステー | (9) バキュームダイヤフラム |
| (2) エアブリーザーブラケット | (10) Oリング |
| (3) エアクリーナーステー | (11) ロッドピン |
| (4) トランスミッションハンガー | (12) シフトブラケット |
| (5) バッテリーケーブルステー | (13) バキュームパイプ |
| (6) エアクリーナーステー | (14) エアブリーザーホース (NAモデル) |
| (7) スタッドボルト | (15) エアブリーザーホース (MSCモデル) |
| (8) バキュームホース | |

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)

T1 : 6.9 (0.7, 5.1)

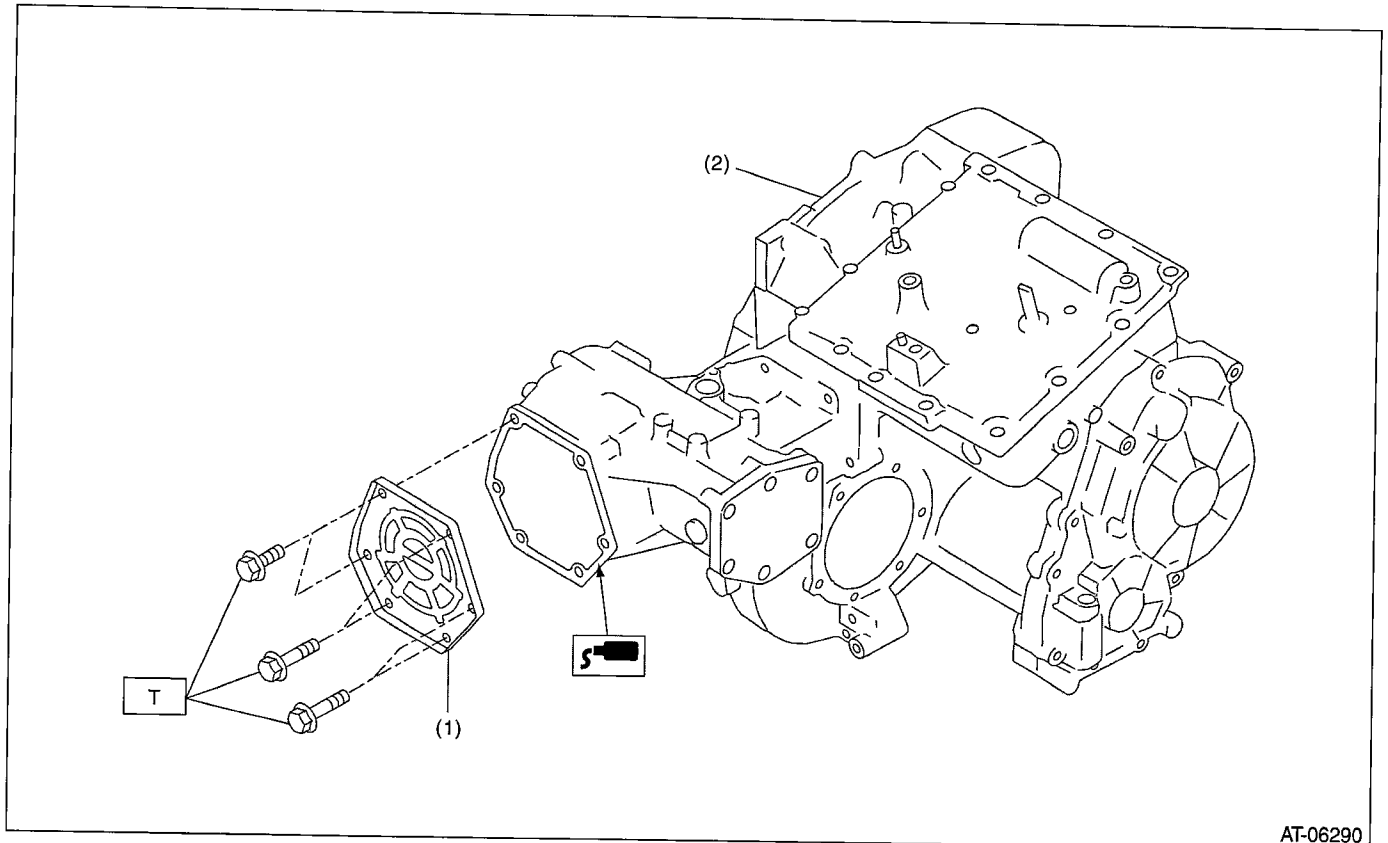
T2 : 7 (0.7, 5.2)

T3 : 18.5 (1.9, 13.6)

T4 : 25 (2.5, 18.4)

オートマチックトランスミッション

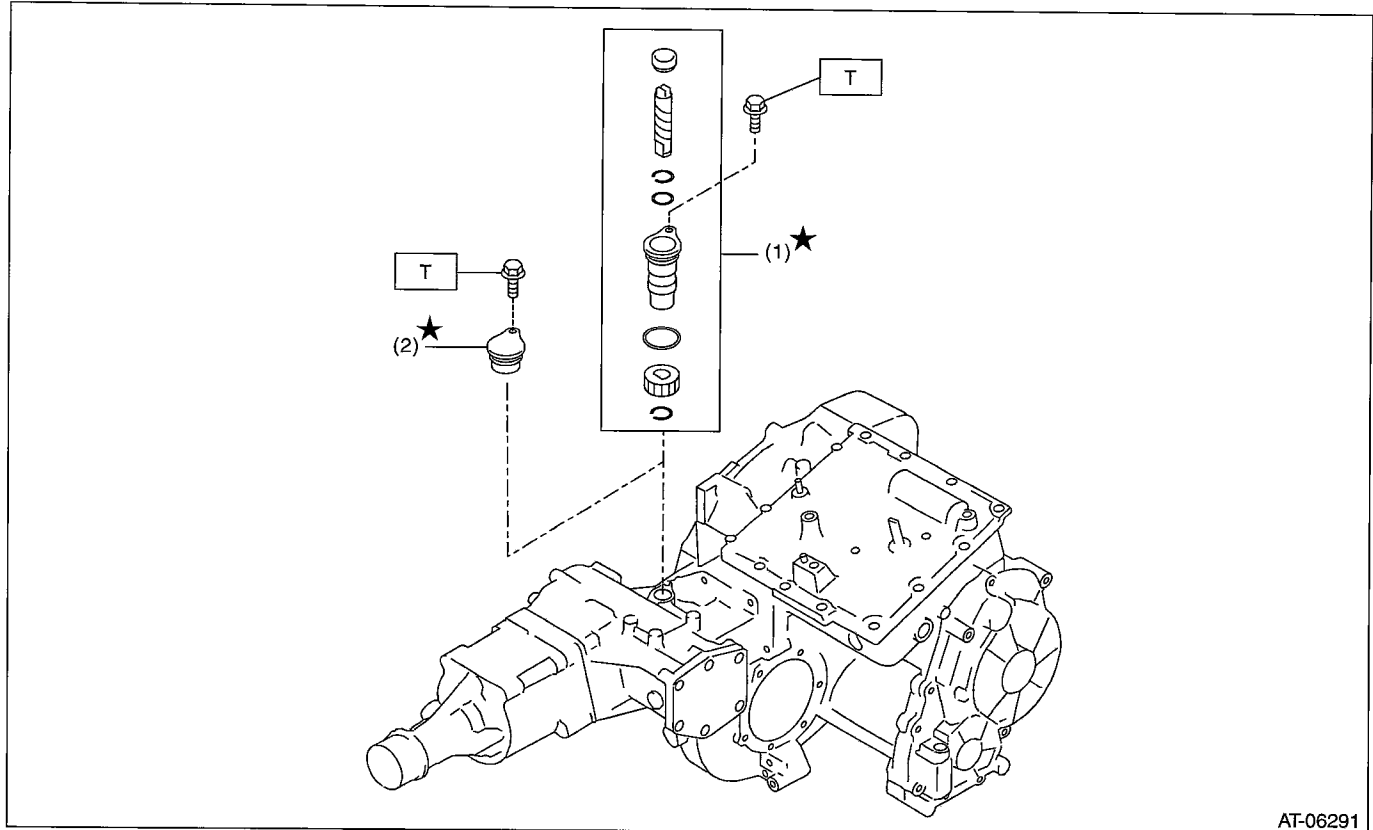
3. トランスミッションカバー (FWD モデル)



- (1) トランスミッションカバー
- (2) トランスミッションASSY

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)
T : 9.5 (1.0, 7.0)

4. スピードメーターギヤ



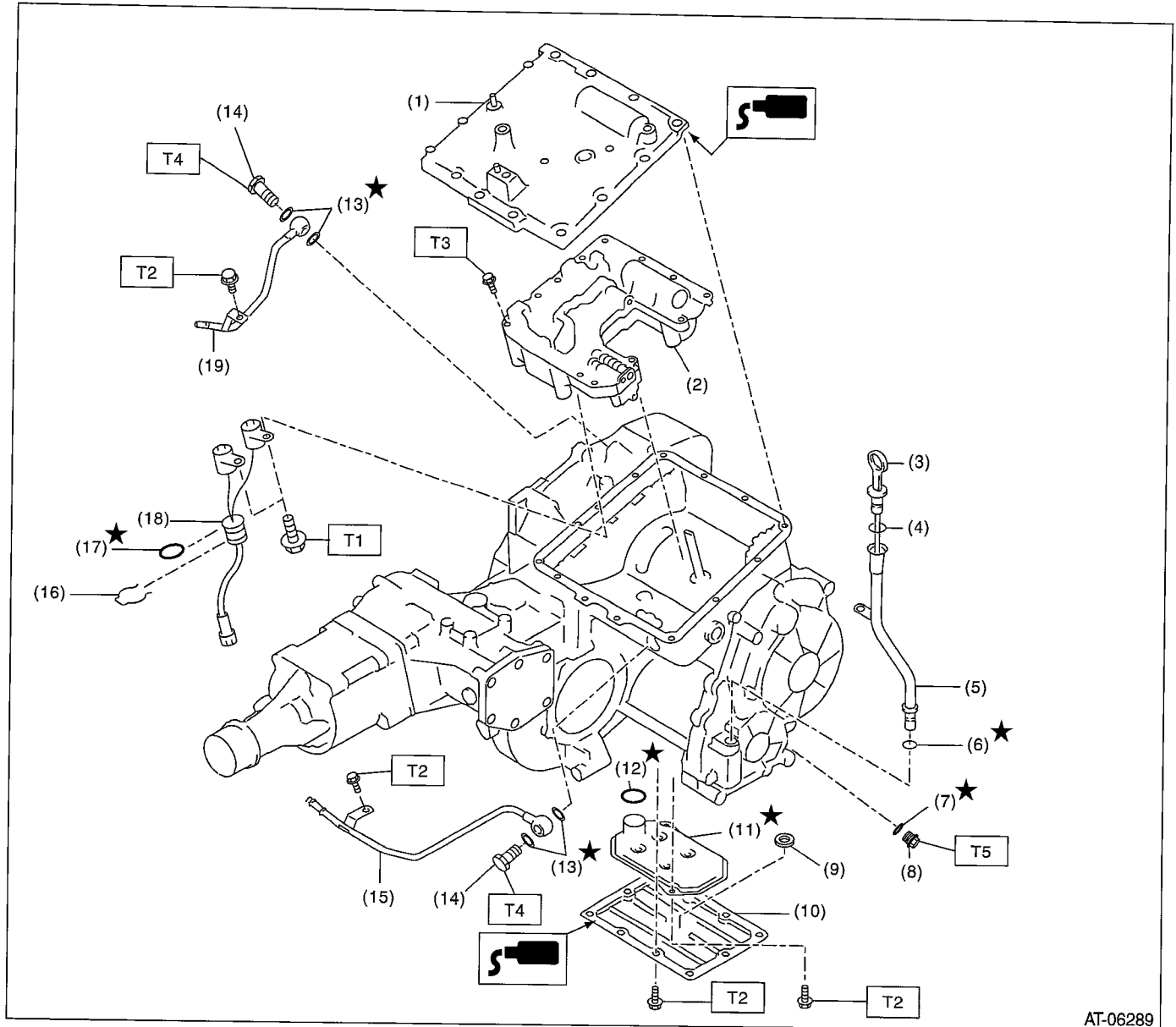
AT-06291

- (1) スピードメーターギヤASSY
- (2) キャップ

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)
T : 7 (0.7, 5.1)

オートマチックトランスミッション

5. コントロールバルブ & ATF クーラーパイプ



AT-06289

- (1) コントロールバルブカバー
- (2) コントロールバルブボディ
- (3) ATF レベルゲージ
- (4) Oリング
- (5) オイルチャージパイプ
- (6) Oリング
- (7) ガasket
- (8) ドレインプラグ
- (9) マグネット

- (10) オイルパン
- (11) オイルストレーナー
- (12) Oリング
- (13) ガasket
- (14) ユニオンボルト
- (15) ATFクーラーアウトレットパイプ
- (16) クリップ
- (17) Oリング
- (18) ターミナルASSY

- (19) ATFクーラーインレットパイプ

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)

T1 : 3 (0.3, 2.2)

T2 : 7 (0.7, 5.2)

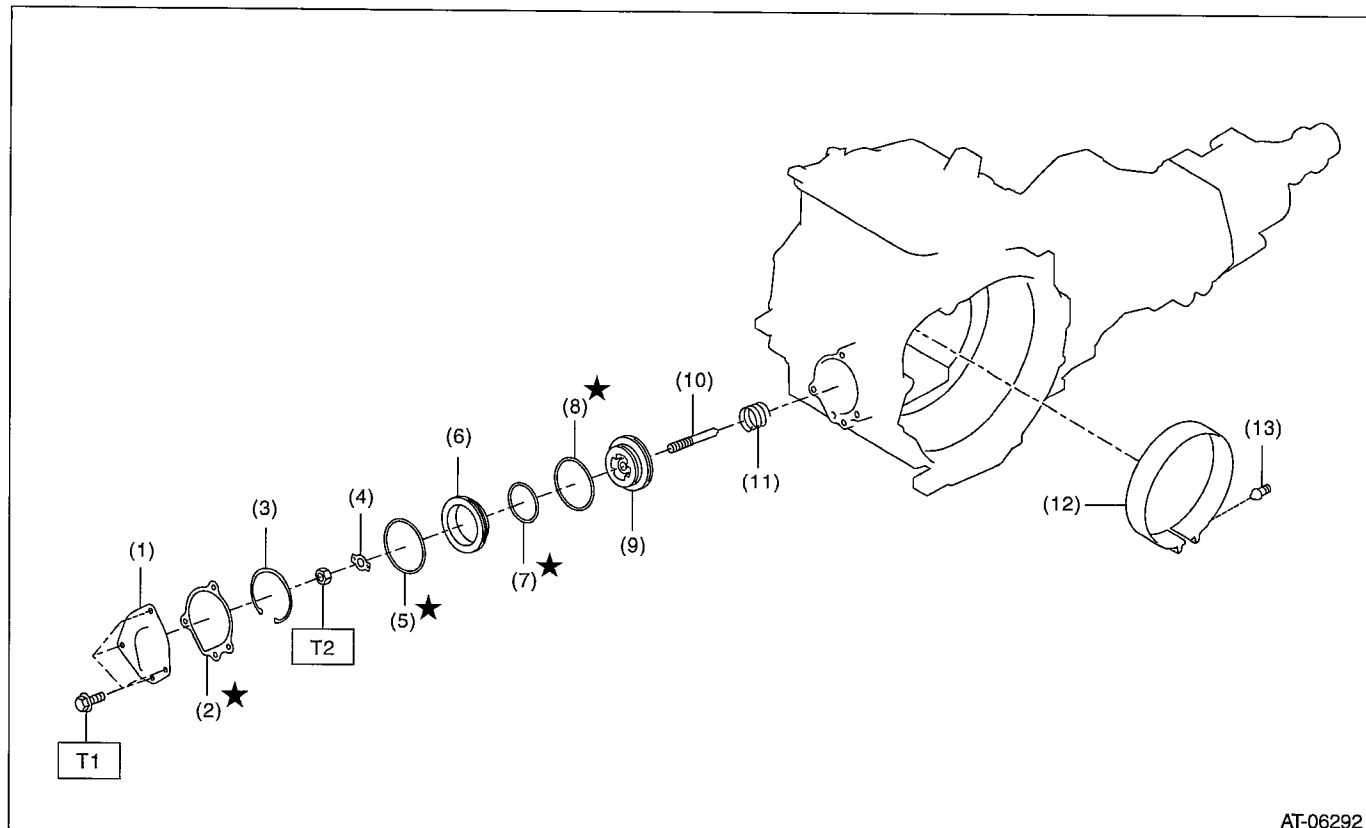
T3 : 8 (0.8, 5.9)

T4 : 29 (3.0, 21.4)

T5 : 46.5 (4.7, 34.3)

オートマチックトランスミッション

6. ブレーキバンド & サーボピストン



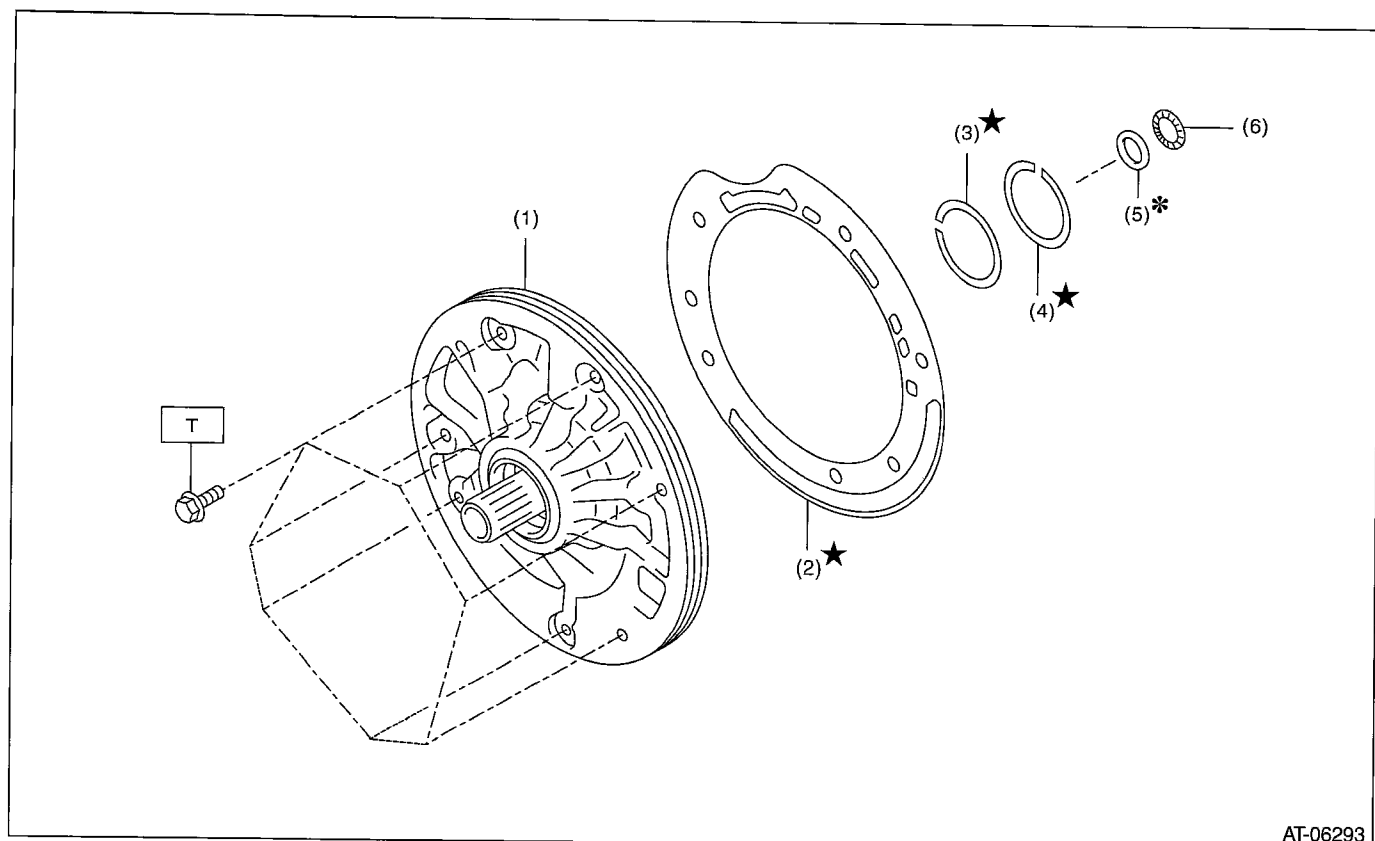
- | | |
|------------------|------------------|
| (1) サーボピストンカバー | (8) シールリング |
| (2) ガasket | (9) サーボピストン |
| (3) スナップリング | (10) アンカーピストンエンド |
| (4) ワッシャー | (11) リターンスプリング |
| (5) シールリング | (12) ブレーキバンド |
| (6) サーボピストンリテーナー | (13) アンカーエンドピン |
| (7) シールリング | |

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)

T1 : 6.9 (0.7, 5.1)

T2 : (3-52の「オートマチックトランス
ミッション、ブレーキバンド、取
付け」を参照のこと。)

7. オイルポンプ

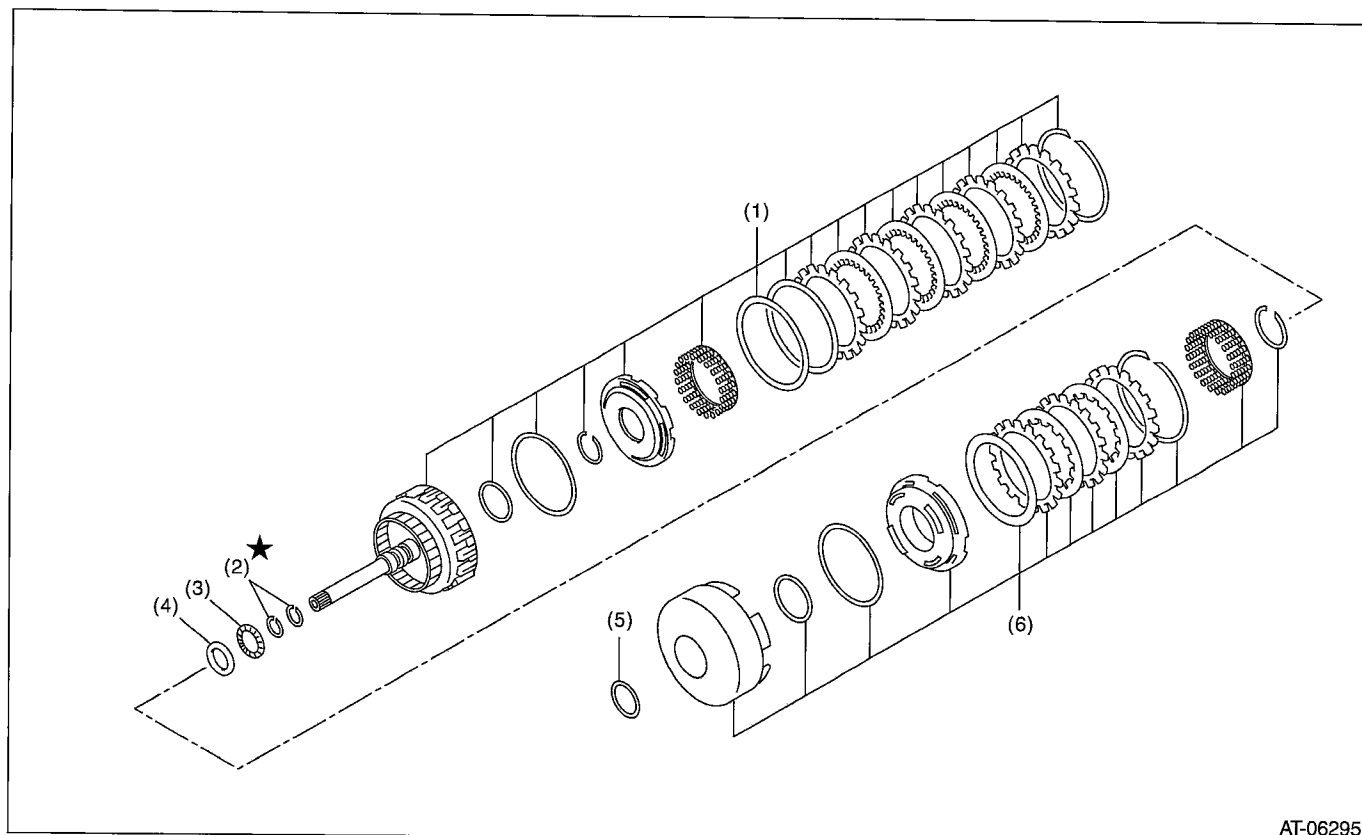


- (1) オイルポンプ
- (2) ガasket
- (3) シールリング

- (4) シールリング
- (5) ベアリングレース
- (6) スラストベアリング

締付けトルク : N·m (kgf-m, ft-lb)
T : 8 (0.8, 5.9)

8. フォワードクラッチ ASSY およびフロントクラッチ ASSY



AT-06295

(1) フォワードクラッチASSY

(2) シールリング

(3) スラストベアリング

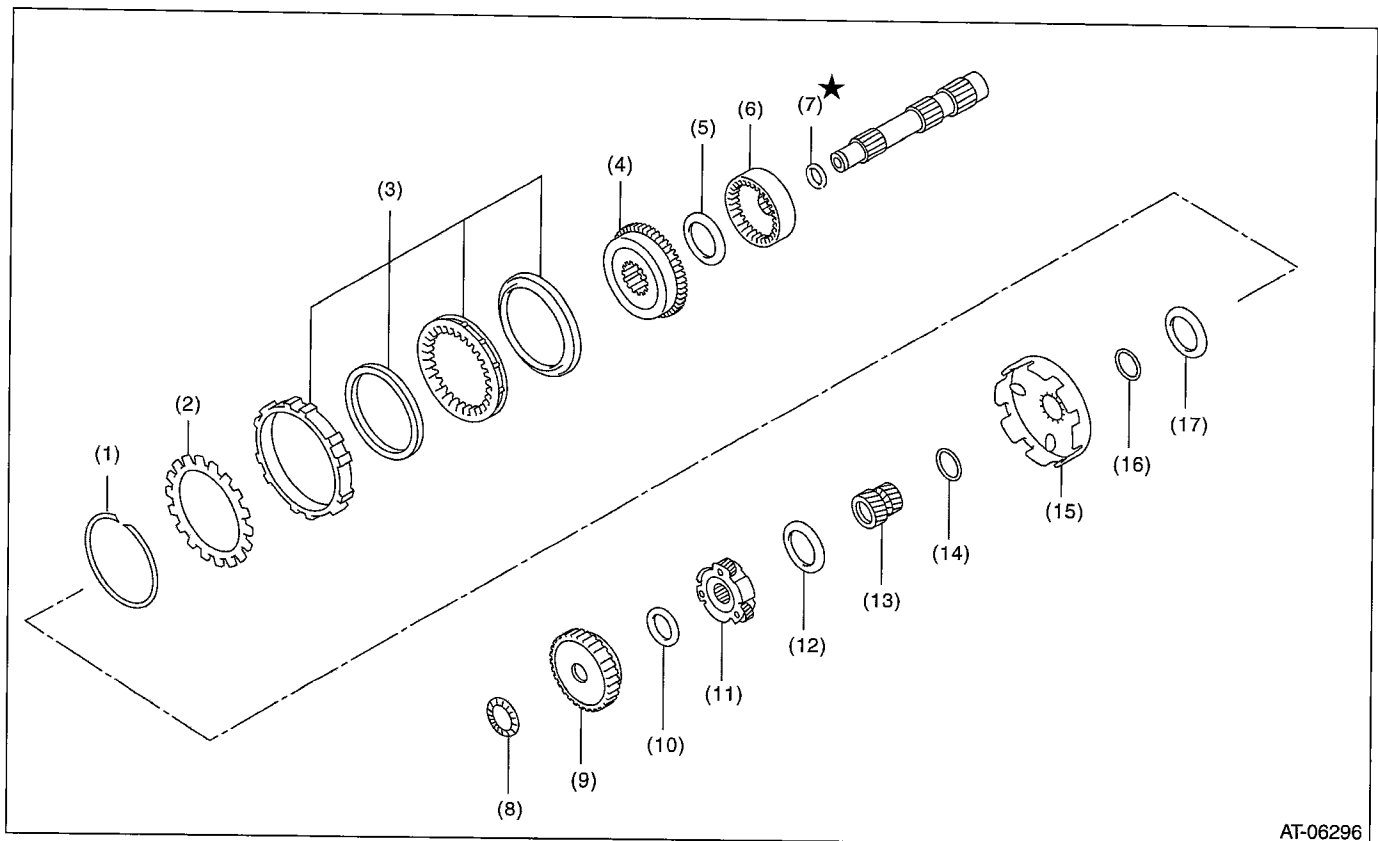
(4) ベアリングレース

(5) スラストワッシャー

(6) フロントクラッチASSY

オートマチックトランスミッション

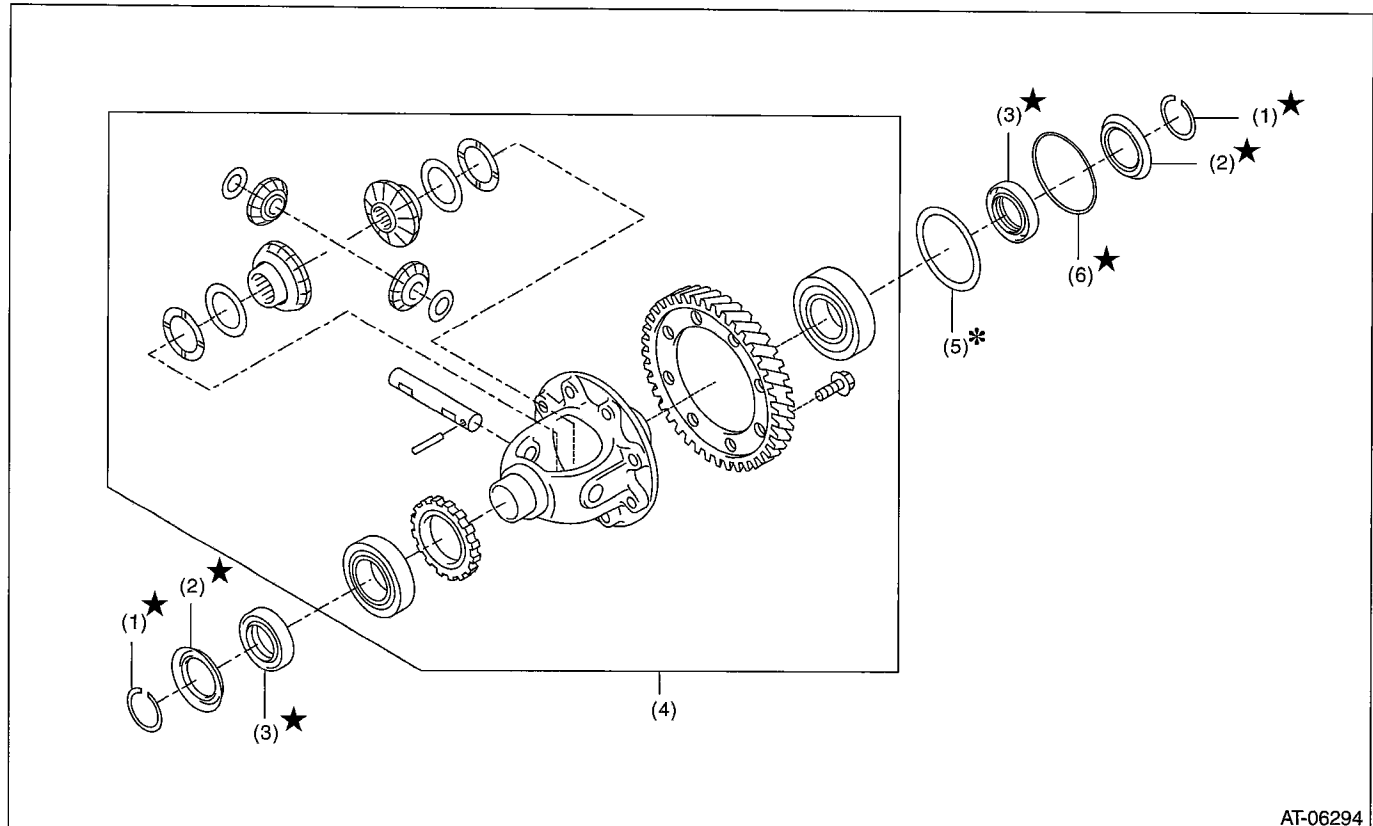
9. ワンウェイクラッチ



AT-06296

- | | | |
|--------------------|----------------------|-----------------|
| (1) スナップリング | (7) シールリング | (13) サンギヤ |
| (2) ドリブプレート No.2 | (8) スラストベアリング | (14) リング |
| (3) ワンウェイクラッチASSY | (9) フロントインターナルギヤASSY | (15) コネクティングシェル |
| (4) リヤキャリアASSY | (10) スラストベアリング | (16) リング |
| (5) スラストベアリング | (11) フロントキャリアASSY | (17) スラストベアリング |
| (6) リヤインターナルギヤASSY | (12) スラストベアリング | |

10.デファレンシャル ASSY



AT-06294

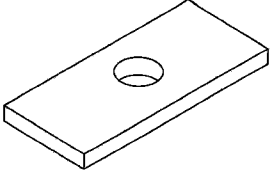
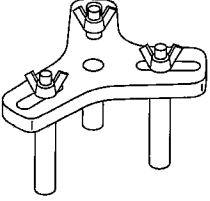
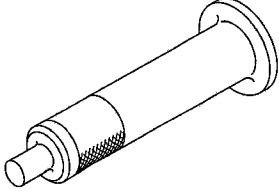
(1) サークリップ
(2) ダストシール

(3) オイルシール
(4) デファレンシャル ASSY

(5) ワッシャー
(6) Oリング

[2] 準備工具

1. 特殊工具

イラスト	工具番号	名称	用途
 ST-499575500	499575500	ゲージ	エンドプレーの測定。
 ST18762AA000	18762AA000	コンプレッサースペシャルツール	サーボピストンの取外しおよび取付けに使用。
 ST18657AA020	18657AA020	オイルシーラーインストーラー	デファレンシャルオイルシールの取付けに使用。

2 車上整備

[1] コントロールバルブボディ

A: 取外し

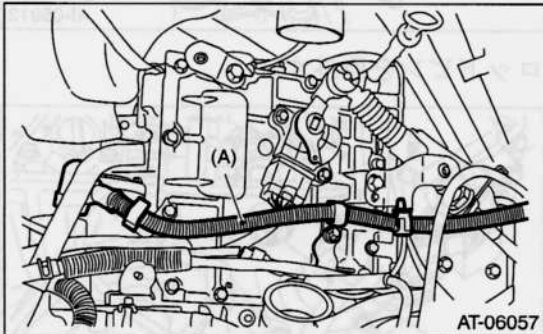
注意:

コントロールバルブはトランスミッション上部に取付けられているため、脱着作業を行う場合は、ほこりやごみなどが内部に入らないよう注意して作業すること。

- 1) トランスミッションの外面を清掃する。
- 2) バッテリーのマイナス端子を外す。
バン系：助手席を後ろに倒しカバーを開ける。
トラック系：荷台右下のバッテリーボックス。
- 3) トラップドアを取外す。
- 4) エアクリーナーを取外す。
- 5) スターターのB端子を外し、バッテリーケーブルをクリップから外す。

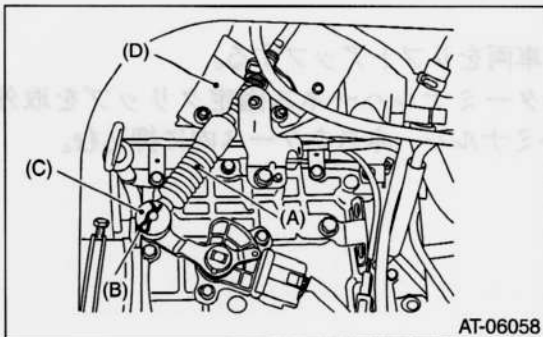
参考:

バッテリーケーブルは作業の邪魔にならない位置によける。



(A) バッテリーケーブル

- 6) セレクトケーブルおよびセレクトケーブルブラケットを取外す。

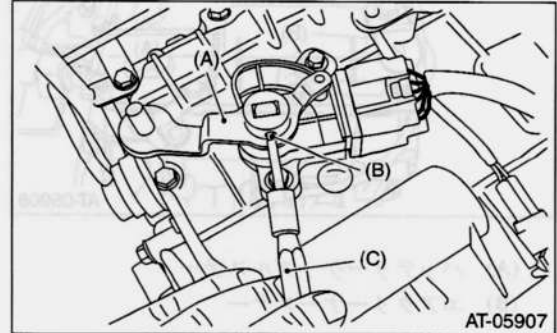


- (A) セレクトケーブル
(B) スナップピン
(C) ワッシャー
(D) セレクトケーブルブラケット

- 7) スプリングピンを外し、シフターアームを取外す。

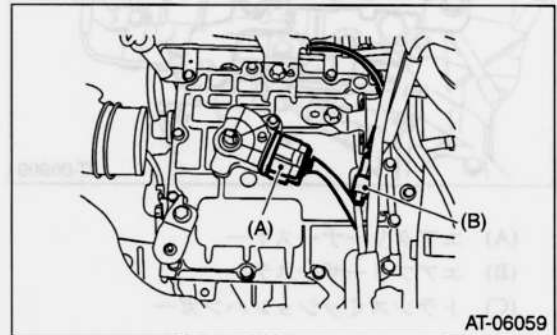
参考:

- $\phi 3.5$ のリムーバーを使用する。
- シフターアームを「L」レンジの位置にする。



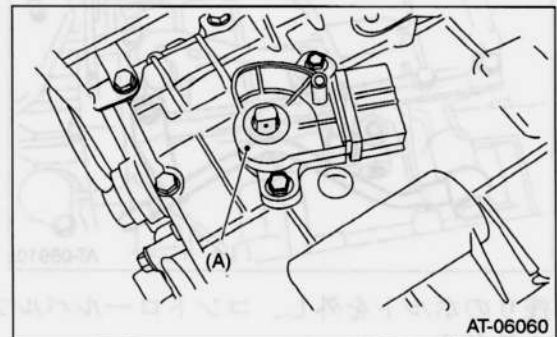
- (A) シフターアーム
(B) スプリングピン
(C) リムーバー

- 8) インヒビタースイッチコネクターおよびターミナルハーネスコネクターを切離す。



- (A) インヒビタースイッチコネクター
(B) ターミナルハーネスコネクター

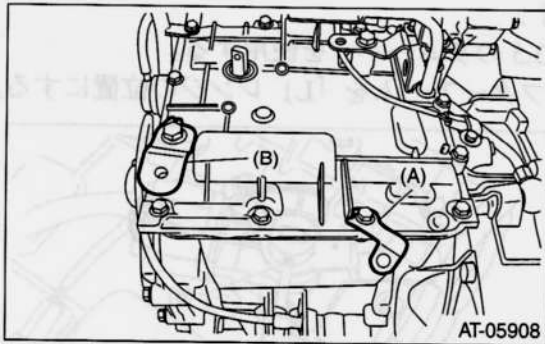
- 9) インヒビタースイッチを取外す。



(A) インヒビタースイッチ

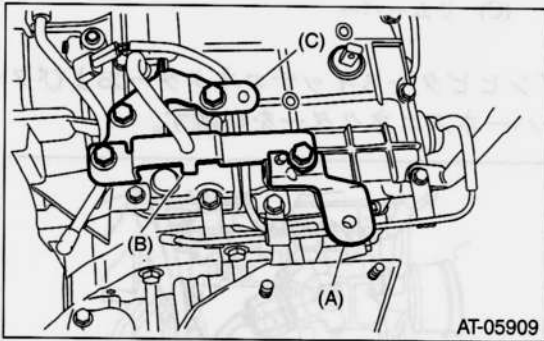
オートマチックトランスミッション

10) バッテリーケーブルステアおよびエアクリーナーステアを取外す。



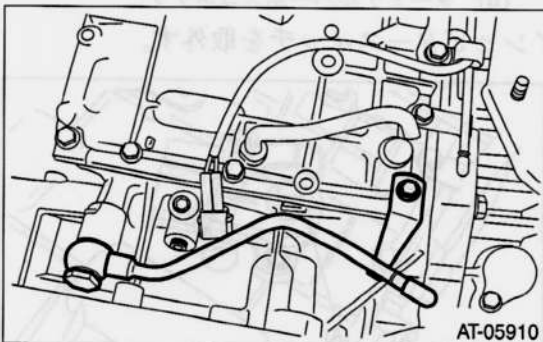
(A) バッテリーケーブルステア
(B) エアクリーナーステア

11) エアクリーナーステア、エアブリーザステアおよびトランスミッションハンガーを取外す。



(A) エアクリーナーステア
(B) エアブリーザステア
(C) トランスミッションハンガー

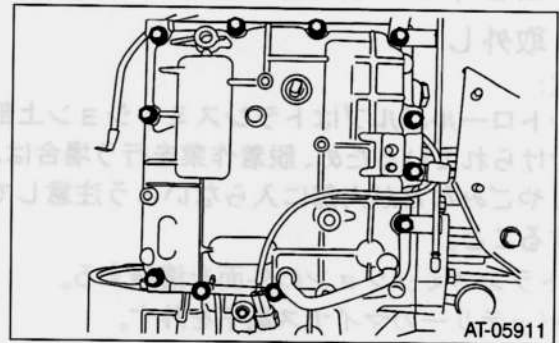
12) ATF クーラーパイプを取外す。



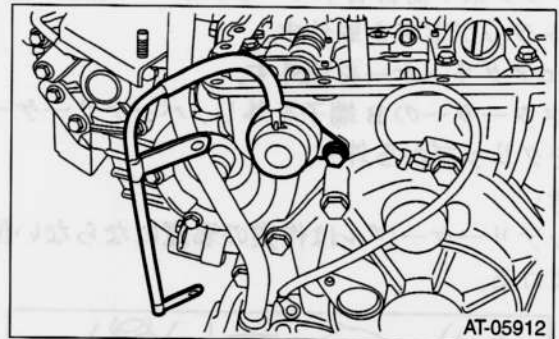
13) 残りのボルトを外し、コントロールバルブカバーを取外す。

参考:

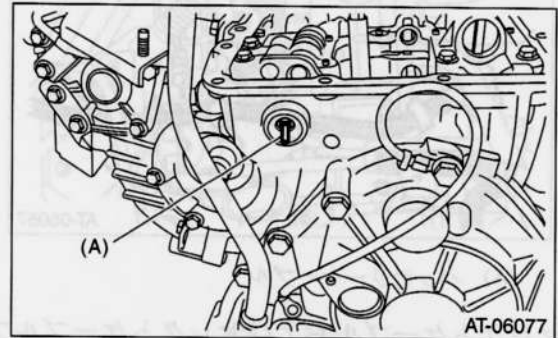
プラスチックハンマーで軽く叩いて取外す。



14) バキュームダイヤフラムを取外す。



15) ロッドピンを取外す。



(A) ロッドピン

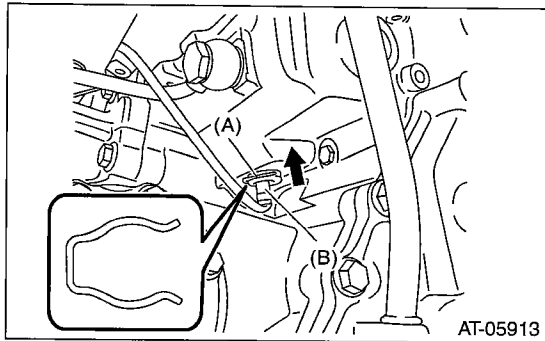
16) 車両をリフトアップする。

17) ターミナルハーネス固定クリップを取外し、ターミナルハーネスをケース内に押込む。

オートマチックトランスミッション

注意:

ターミナルハーネスクリップを飛ばさないように注意すること。



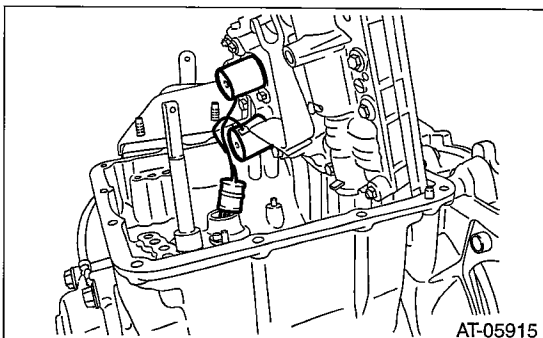
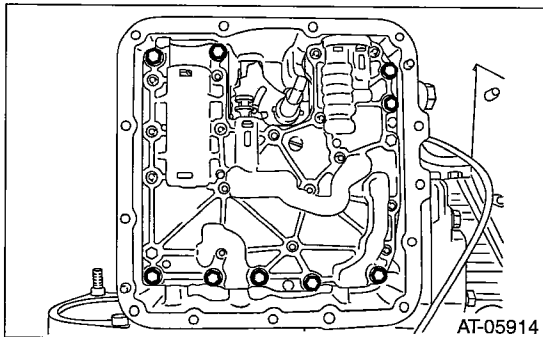
(A) ターミナルハーネスクリップ
(B) ターミナルハーネス

18) 車両をリフトダウンする。

19) コントロールバルブボディを取外す。

参考:

- ターミナルハーネスをケースの穴から内側に抜く。
- ケース内にゴミなどが入らないよう、ターミナルハーネスを事前に清掃しておく。



B: 取付け

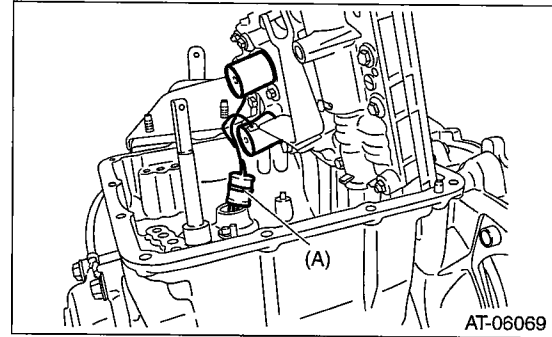
注意:

コントロールバルブはトランスミッション上部に取付けられているため、脱着作業を行う場合は、ほこりやゴミなどが内部に入らないよう注意して作業すること。

1) ターミナルハーネスをケースの穴から外側に通し、止まる位置まで確実に押込む。

参考:

新品の O リングを使用する。

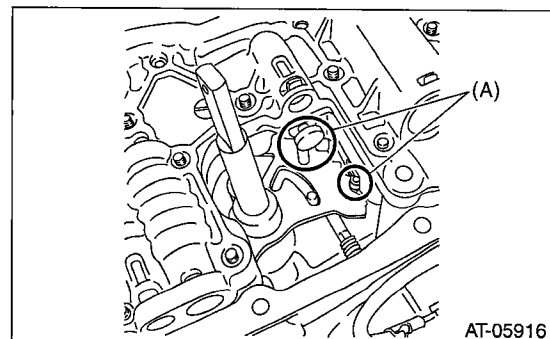


(A) O リング

2) マニュアルプレートをコントロールバルブ側に押して、マニュアルバルブの切り欠き部をマニュアルプレートの位置決めピンに合わせて、コントロールバルブボディを取付ける。

注意:

ターミナルハーネスが噛みこまないように注意して組付けること。



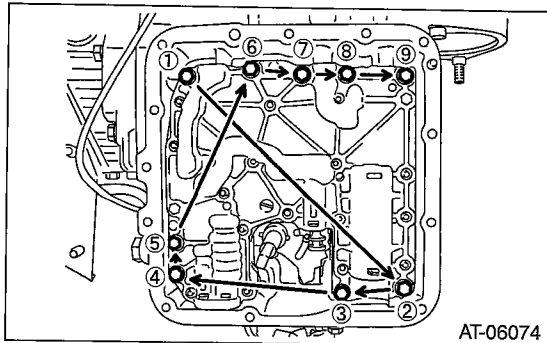
(A) 組付位置

オートマチックトランスミッション

- 3) コントロールバルブボディ取付けボルトをイラストの順序で締付ける。

締付けトルク：

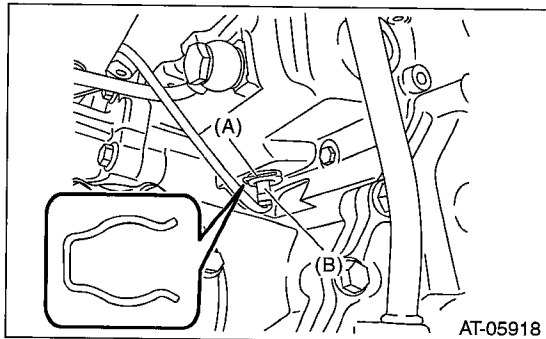
8 N·m (0.8 kgf-m, 5.9 ft-lb)



- 4) 車両をリフトアップする。
5) ターミナルハーネスのクリップを取付ける。

参考：

クリップを 1 回転させ確実に溝に入っているか確認する。

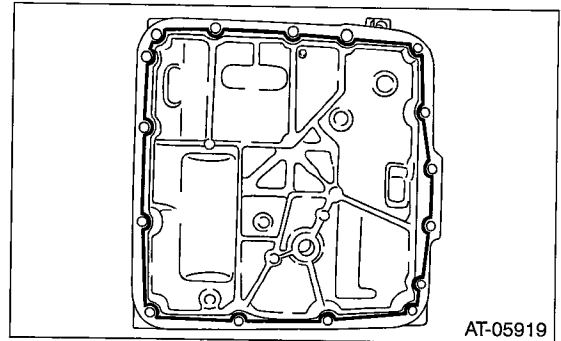


- (A) ターミナルハーネスクリップ
(B) ターミナルハーネス

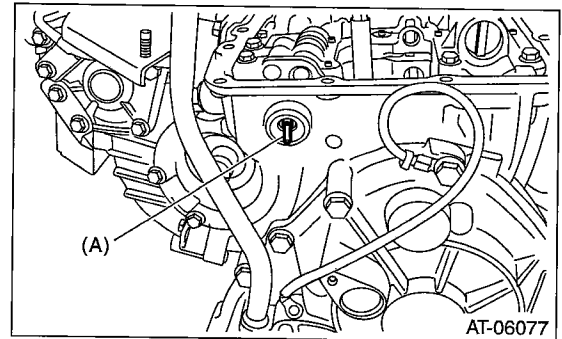
- 6) 車両をリフトダウンする。
7) コントロールバルブカバー合わせ面に液体ガスケットを適量塗布し、ケースに取付ける。
参考：
合わせ面の古いガスケットを取除き脱脂する。

液体ガスケット：

スリーボンド 1216B



- 8) ロッドピンを取付ける。



- (A) ロッドピン

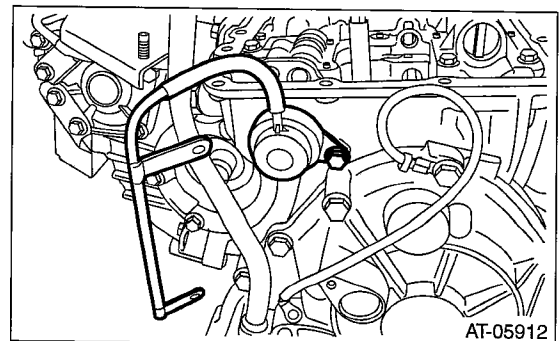
- 9) バキュームダイヤフラムを取付ける。

参考：

新品の O リングを使用する。

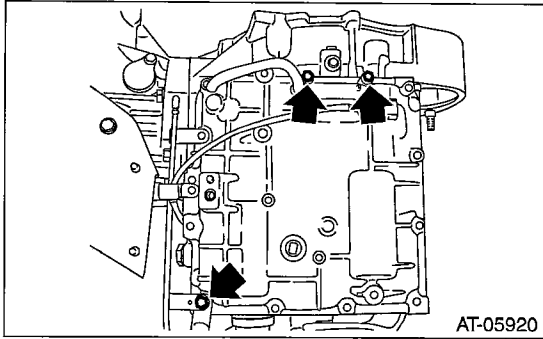
締付けトルク：

6.9 N·m (0.7 kgf-m, 5.1 ft-lb)

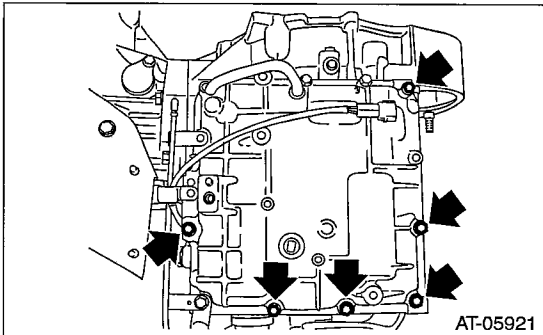


オートマチックトランスミッション

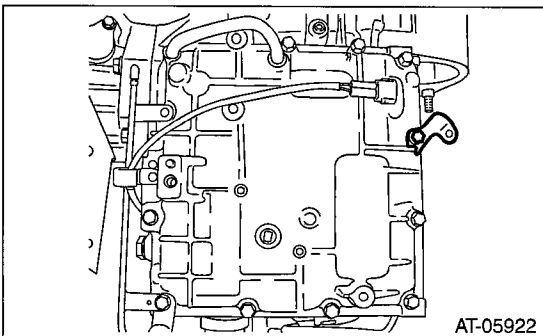
- 10) ボルト（黒色）3本を仮締めする。



- 11) ボルト 6本を仮締めする。



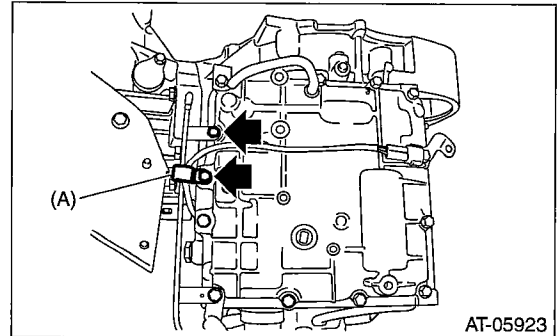
- 12) バッテリーケーブルステーを仮締めする。



- 13) ハーネスをバキュームパイプとケースの間に
入れ、仮締めする。

参考:

ハーネスの白テープ位置とクランプの位置を合わせる。

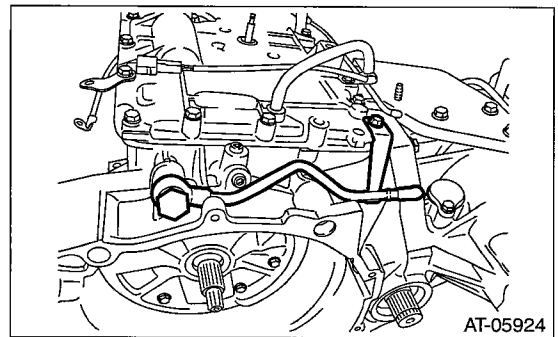


(A) クランプ

- 14) ATF クーラーパイプを取付け仮締めする。

参考:

新品の銅ワッシャーを使用する。



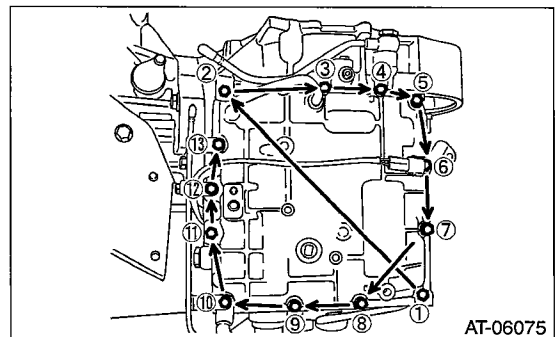
- 15) コントロールバルブカバーを締付ける。

参考:

ボルトの締め付け順序はイラスト参照。

締め付けトルク:

7 N・m (0.7 kgf-m, 5.2 ft-lb)

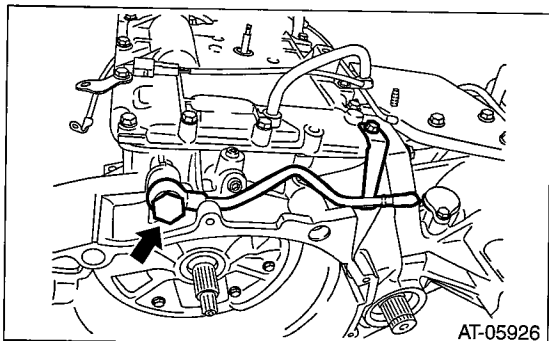


オートマチックトランスミッション

16) ATF クーラーパイプのユニオンスクリューを締付ける。

締付けトルク：

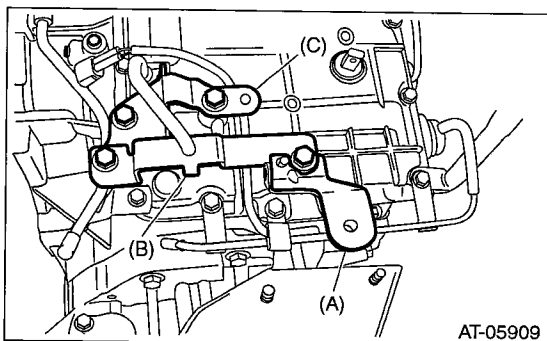
29 N·m (3.0 kgf·m, 21.4 ft·lb)



17) エアクリーナーステア、エアブリーザーステアおよびトランスミッションハンガーを取付ける。

締付けトルク：

18.5 N·m (1.9 kgf·m, 13.6 ft·lb)

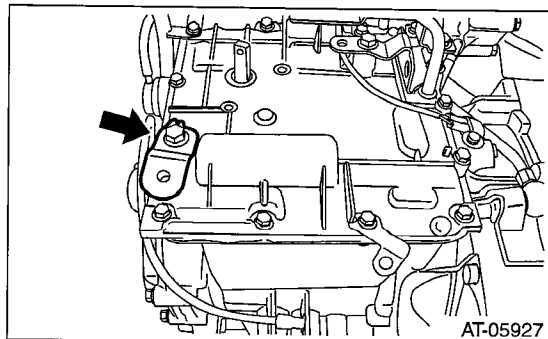


- (A) エアクリーナーステア
- (B) エアブリーザーステア
- (C) トランスミッションハンガー

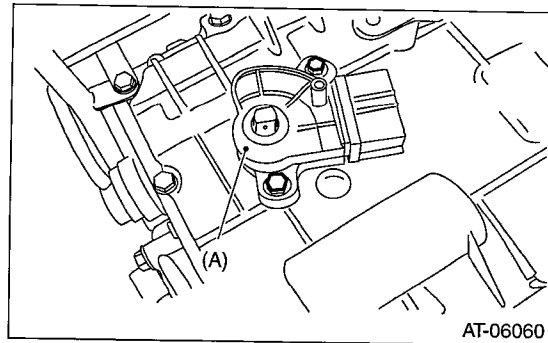
18) エアクリーナーステアを取付ける。

締付けトルク：

18.5 N·m (1.9 kgf·m, 13.6 ft·lb)



19) インヒビタースイッチを取付ける。

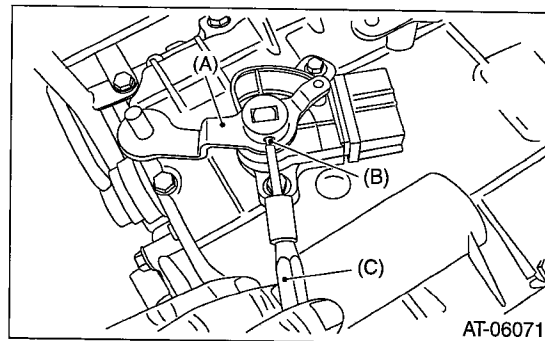


- (A) インヒビタースイッチ

20) シフターアームを取付けスプリングピンで固定する。

参考：

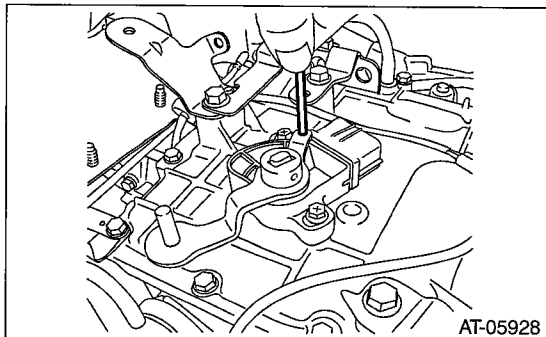
- 新品のスプリングピンを使用する。
- $\phi 3.5$ のリムーバーを使用する。
- シフターアームを「L」レンジの位置にする。



- (A) シフターアーム
- (B) スプリングピン
- (C) リムーバー

21) インヒビタースイッチを調整する。

- (1) シフターアームを「N」レンジの位置にする。
- (2) インヒビタースイッチ取付けボルトをゆるめる。
- (3) $\phi 4$ の丸棒をシフターアームおよびスイッチボディの穴に垂直に挿入する。

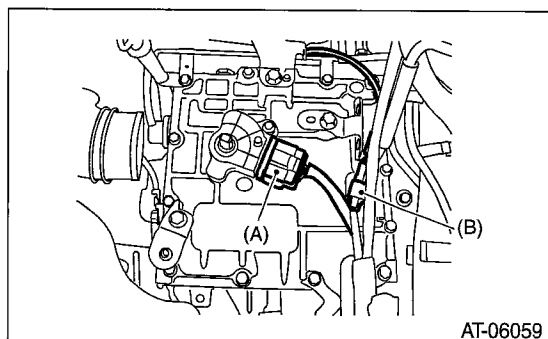


- (4) インヒビタースイッチ取付けボルトを締付ける。

締付けトルク :

3.3 N-m (0.3 kgf-m, 2.4 ft-lb)

22) インヒビタースイッチコネクタおよびターミナルハーネスコネクタを接続する。

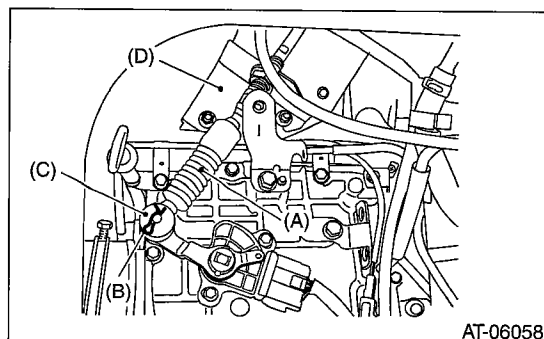


- (A) インヒビタースイッチコネクタ
- (B) ターミナルハーネスコネクタ

23) セレクトケーブルおよびセレクトケーブルブラケットを取付ける。

締付けトルク :

15 N-m (1.5 kgf-m, 11.1 ft-lb)



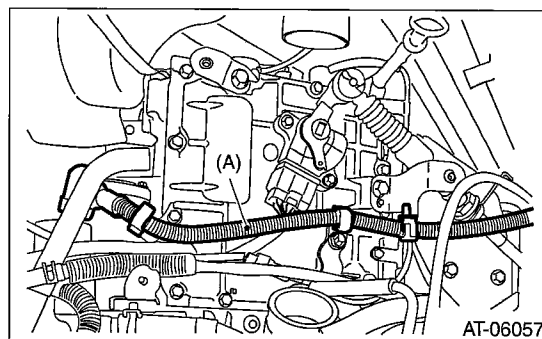
- (A) セレクトケーブル
- (B) スナップピン
- (C) ワッシャー
- (D) セレクトケーブルブラケット

24) セレクトケーブルを点検し、必要に応じて調整する。

25) スターターのB端子を接続し、バッテリーケーブルをクリップで固定する。

締付けトルク :

15.5 N-m (1.6 kgf-m, 11.4 ft-lb)



- (A) バッテリーケーブル

26) エアクリーナーを取付ける。

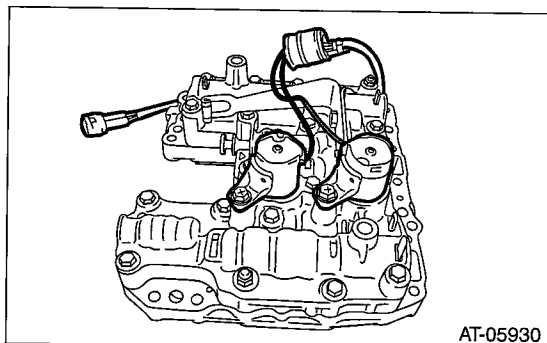
27) バッテリーのマイナス端子を取付ける。

28) ATF レベルを点検し、不足している場合補充する。

29) トラップドアを取付ける。

C: 分解

ターミナル ASSY を取外す。

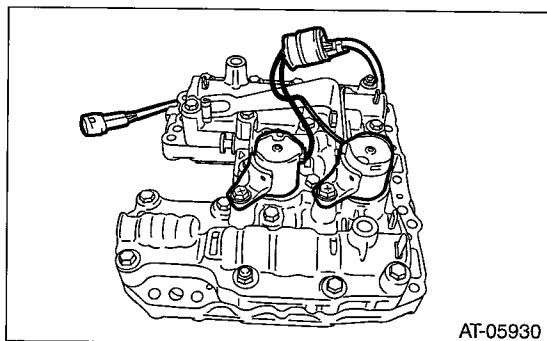


D: 組立て

ターミナル ASSY を取付ける。

締付けトルク :

3 N·m (0.3 kgf·m, 2.2 ft·lb)



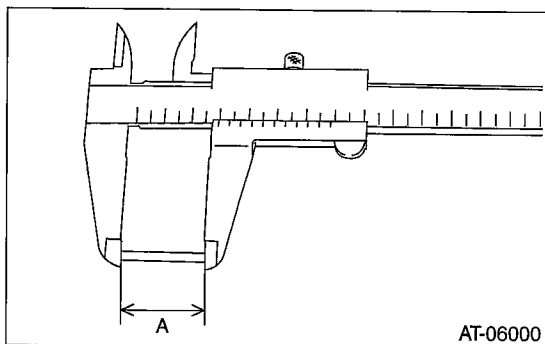
E: 点検

それぞれの部品に損傷、破損またはほこりの付着がないか点検する。

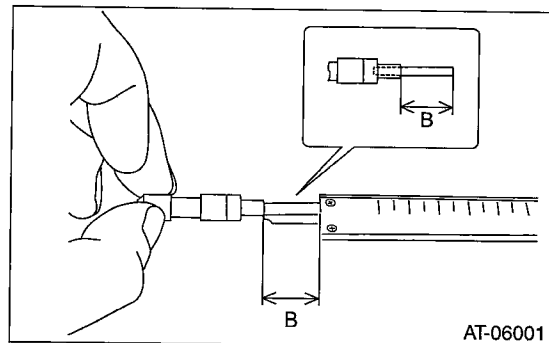
F: 調整

コントロールバルブ ASSY を交換した場合、以下の手順でロッドピンを選択する。

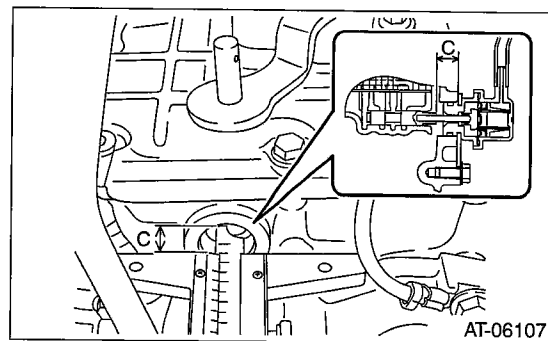
1) ロッドピンの長さ「A」を測定する。



2) ロッドピンの出代「B」を測定する。



3) トランスミッションケース端面からバルブ端面までの深さ「C」を測定する。



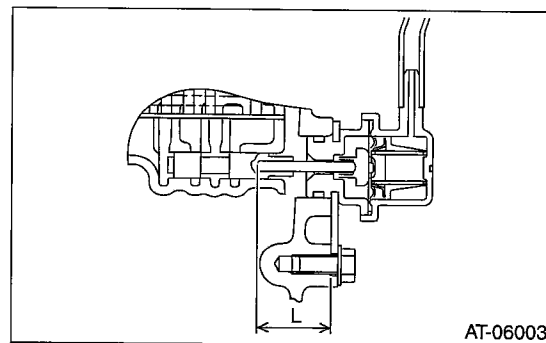
4) 上記の手順から「L」寸法を計算し、下記の表からロッドピンを選択する。

計算式 : $L \text{ mm (in)} = A - B + C$

A : ロッドピンの長さ

B : ロッドピンの出代

C : ケースの端面からロッド端面までの深さ



ロッドピン	
部品番号	長さ mm (in)
31932KA060	$L < 25.0 (0.98)$
31932KA070	$25.0 (0.98) \leq L < 25.5 (1.00)$
31932KA080	$25.5 (1.00) \leq L < 26.0 (1.02)$
31932KA090	$26.0 (1.02) \leq L < 26.5 (1.04)$
31932KA100	$26.5 (1.04) \leq L < 27.0 (1.06)$
31932KA110	$27.0 (1.06) \leq L$

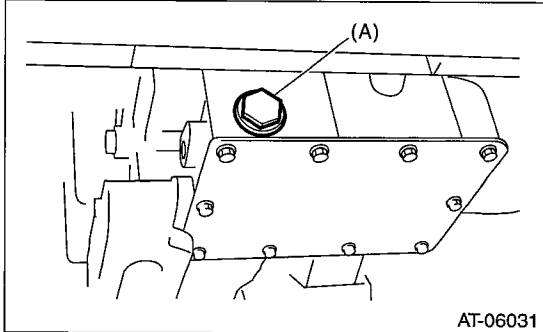
[2] オイルストレーナー

A: 取外し

- 1) トラップドアを取外す。
- 2) 車両をリフトアップする。
- 3) トランスミッションの外面を清掃する。
- 4) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。

注意:

走行直後または長時間のアイドリング直後の ATF は高温のため、火傷をしないように注意すること。



(A) ドレインプラグ

- 5) ドレインプラグを取付ける。

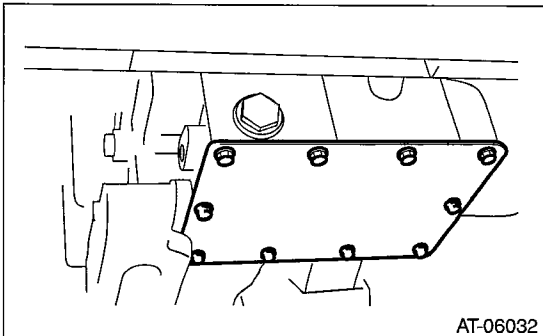
参考:

新品のガスケットを使用する。

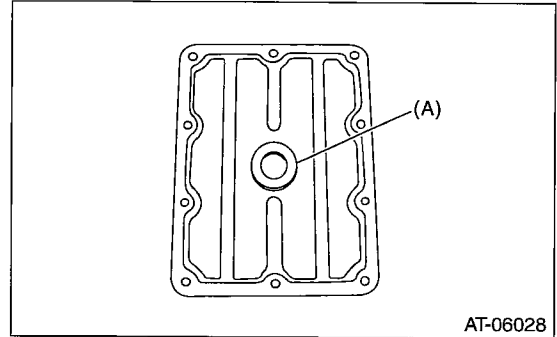
締付けトルク:

46 N·m (4.7 kgf-m, 33.9 ft-lb)

- 6) オイルパンを取外す。

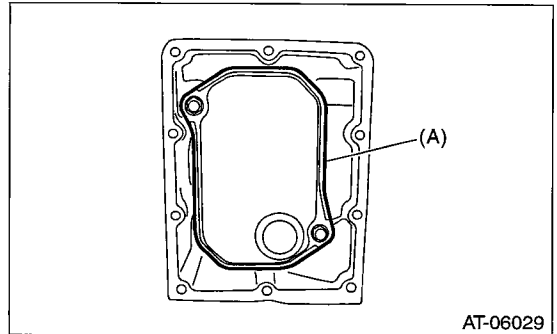


- 7) オイルパンからマグネットを取外す。



(A) マグネット

- 8) マグネットを清掃する。
- 9) オイルストレーナーを取外す。



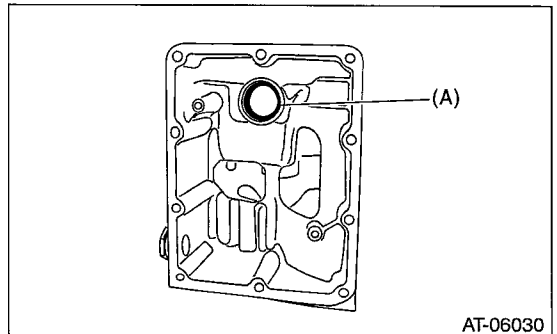
(A) オイルストレーナー

B: 取付け

- 1) O リングに ATF を塗布しトランスミッションケースに取付ける。

参考:

新品の O リングを使用する。



(A) Oリング

オートマチックトランスミッション

2) オイルストレーナーを取付ける。

注意:

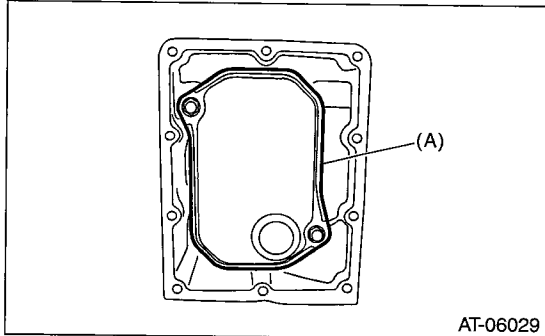
オイルストレーナーを斜めに押し込むと、Oリングが損傷する恐れがある。オイルストレーナーが斜めにならないように押込んで取付けること。

参考:

新品のオイルストレーナーを使用する。

締付けトルク:

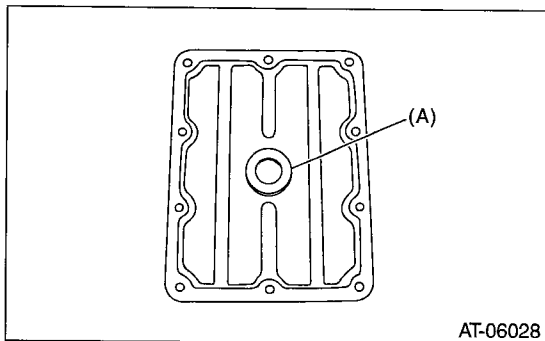
7 N·m (0.7 kgf-m, 5.2 ft-lb)



(A) オイルストレーナー

3) オイルパンおよびトランスミッションケース合わせ面の古いガスケットを取除き、脱脂する。

4) オイルパンの規定の位置にマグネットを取付ける。

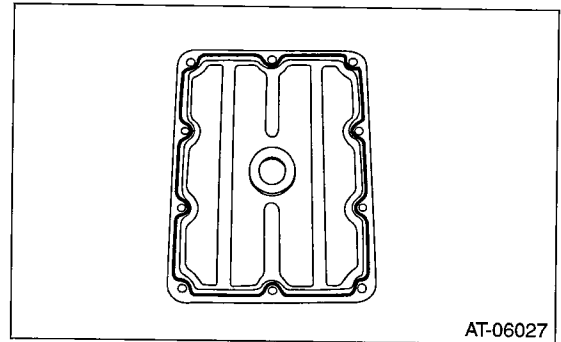


(A) マグネット

5) オイルパンの合わせ面に液体ガスケットを適量塗布する。

液体ガスケット:

スリーボンド 1216B



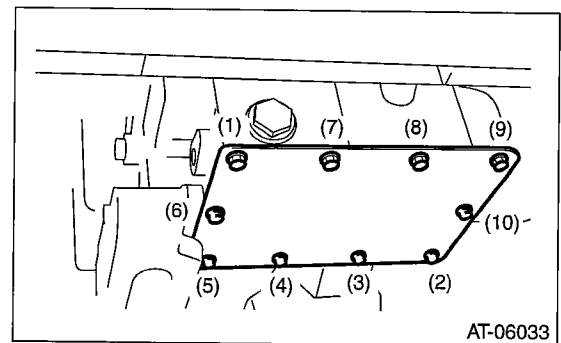
6) オイルパンを取付ける。

参考:

イラストの順序でボルトを締付ける。

締付けトルク:

7 N·m (0.7 kgf-m, 5.2 ft-lb)



7) 車両をリフトダウンする。

8) オイルチャージパイプから ATF を補充する。

9) ATF レベルを点検する。

10) トラップドアを取付ける。

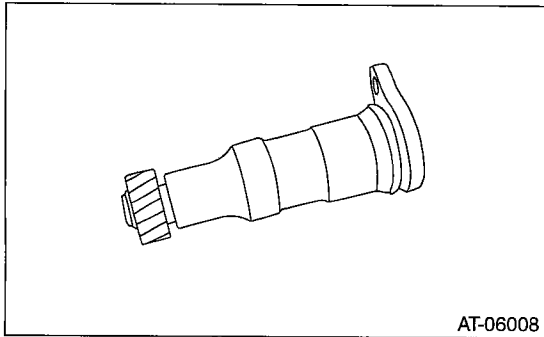
C: 点検

オイルストレーナーに穴あき、切損またはほこりの付着がないか点検する。

[3] スピードメーターギヤ（スピードメーターギヤ付モデル）

A: 取外し

- 1) トラップドアを取外す。
- 2) エアクリーナーを取外す。
- 3) スピードメーターケーブルを切離す。
- 4) スピードメーターギヤ ASSY 取付けボルトを外す。
- 5) ボトムカバーからスピードメーターギヤ ASSY を取外す。



C: 点検

スピードメーターギヤに損傷、破損、摩耗またはその他の不具合がないか点検する。

B: 取付け

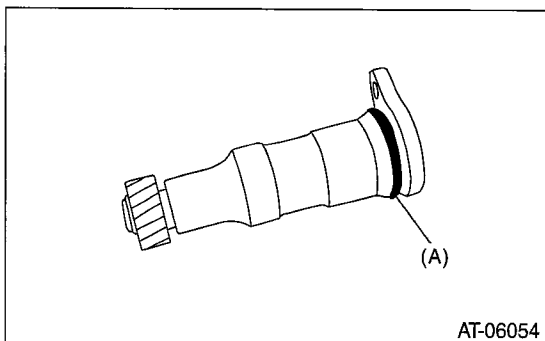
- 1) スピードメーターギヤ ASSY をボトムカバーに取付ける。

参考:

新品のスピードメーターギヤ ASSY を使用する。

締付けトルク:

7 N·m (0.7 kgf-m, 5.2 ft-lb)



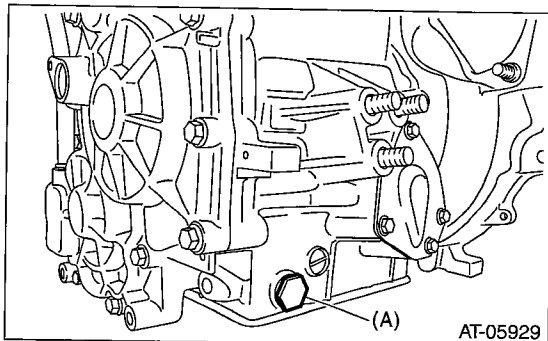
(A) Oリング

- 2) スピードメーターケーブルを接続する。
- 3) エアクリーナーを取付ける。
- 4) トラップドアを取付ける。

3 オイルポンプ

A: 取外し

- 1) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。



(A) ドレインプラグ

- 2) ドレインプラグを取付ける。

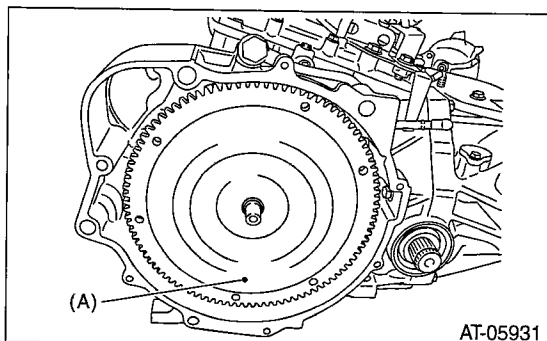
参考:

新品のガスケットを使用する。

締付けトルク:

46.5 N·m (4.7 kgf-m, 34.3 ft-lb)

- 3) トルクコンバーターを取外す。



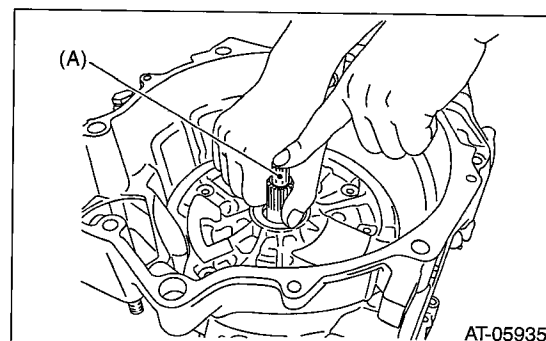
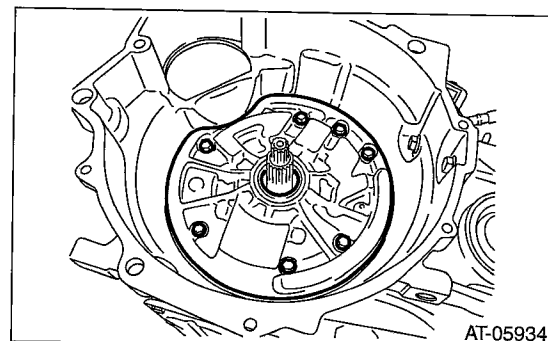
(A) トルクコンバーター

- 4) コンバーターハウジング面を上に向ける。

- 5) オイルポンプを取外す。

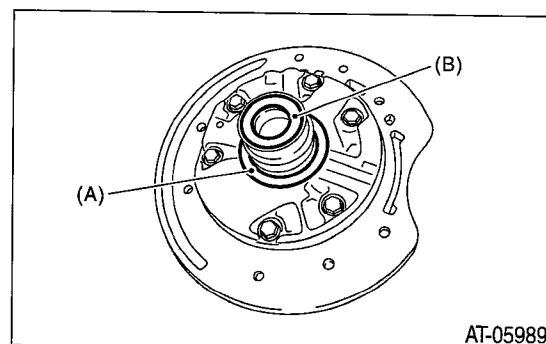
参考:

インプットシャフトを押さえながらオイルポンプを持上げる。



(A) インプットシャフト

- 6) オイルポンプからスラストワッシャーおよびベアリングレースを取外す。

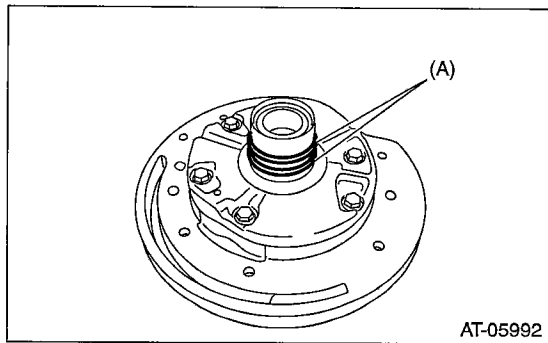


(A) スラストワッシャー

(B) ベアリングレース

オートマチックトランスミッション

7) オイルポンプからシールリングを取外す。



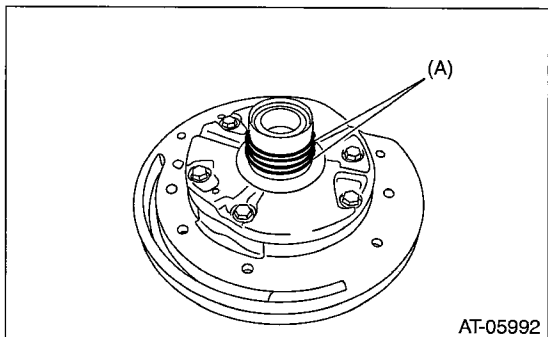
(A) シールリング

B: 取付け

1) オイルポンプにシールリングを取付ける。

参考:

- 新品のシールリングを取付ける。
- シールリングに ATF を塗布する。

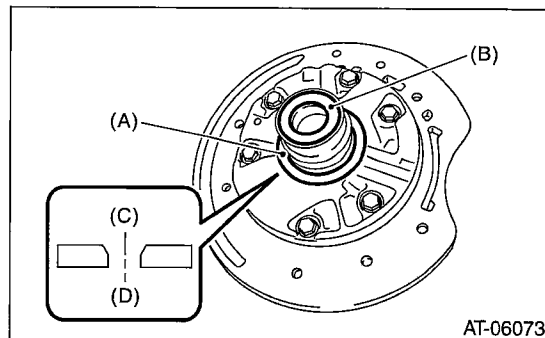


(A) シールリング

2) オイルポンプにスラストワッシャーおよびベアリングレースを取付ける。

参考:

スラストワッシャーは内側面取り面をフロントクラッチ側に向けて取付ける。

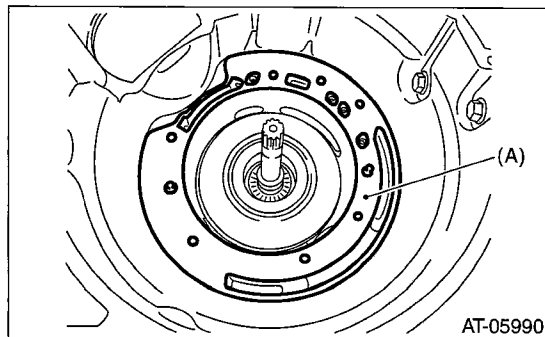


- (A) スラストワッシャー
- (B) ベアリングレース
- (C) フロントクラッチ側
- (D) オイルポンプ側

3) トランスミッションケースにガスケットを取付ける。

参考:

新品のガスケットを使用する。



(A) ガスケット

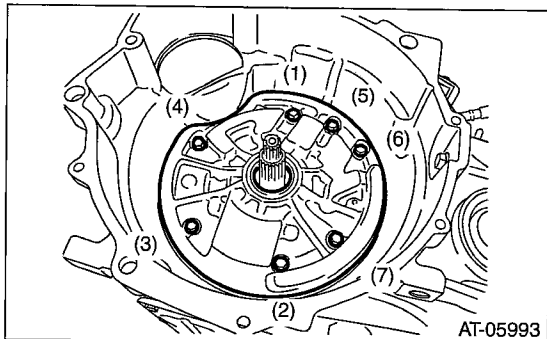
4) オイルポンプを取付ける。

参考:

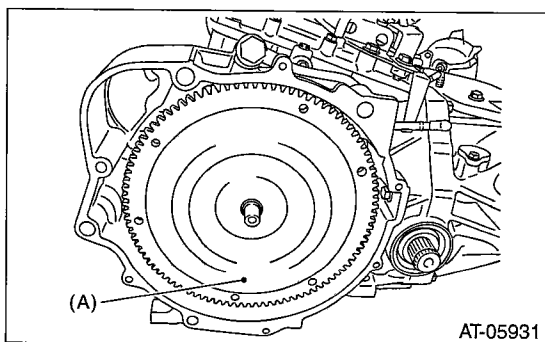
ボルトの締付け順序はイラスト参照。

締付けトルク:

8 N·m (0.8 kgf-m, 5.9 ft-lb)



5) トルクコンバーターを取付ける。



(A) トルクコンバーター

C: 点検

オイルポンプ、シールリングに損傷、破損、摩耗またはその他の不具合がないか点検する。

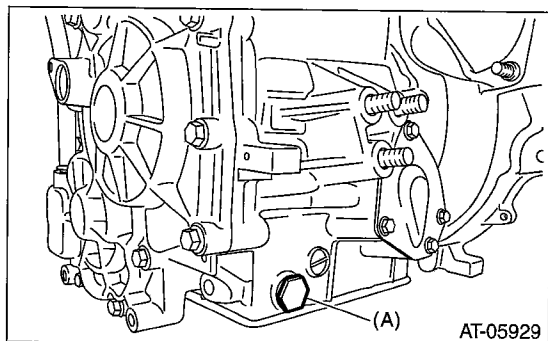
D: 調整

オイルポンプを交換した場合、エンドプレーを測定し規定値内になるよう調整する。(3-39の「オートマチックトランスミッション、フロントクラッチ ASSY、調整」を参照のこと。)

4 デファレンシャル ASSY

A: 取外し

- 1) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。



(A) ドレインプラグ

- 2) ドレインプラグを取付ける。

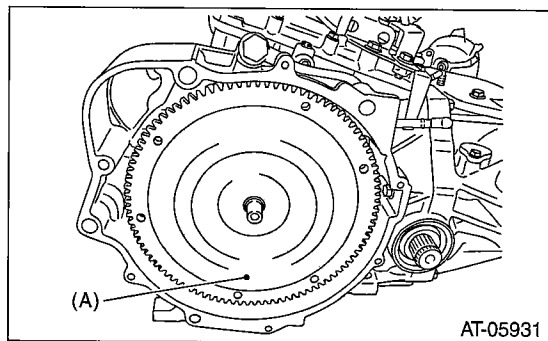
参考:

新品のガスケットを使用する。

締付けトルク:

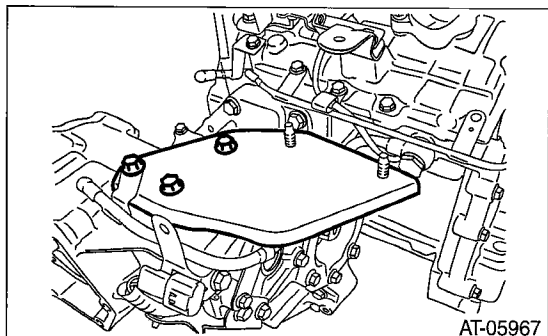
46 N·m (4.7 kgf-m, 33.9 ft-lb)

- 3) トルクコンバーターを取外す。

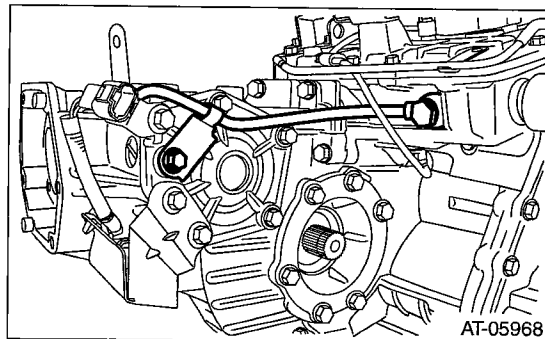


(A) トルクコンバーター

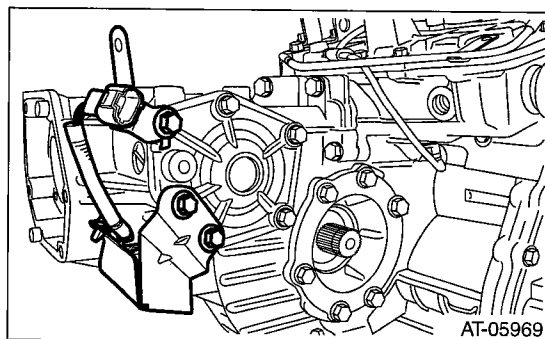
- 4) セレクトケーブルブラケットを取外す。



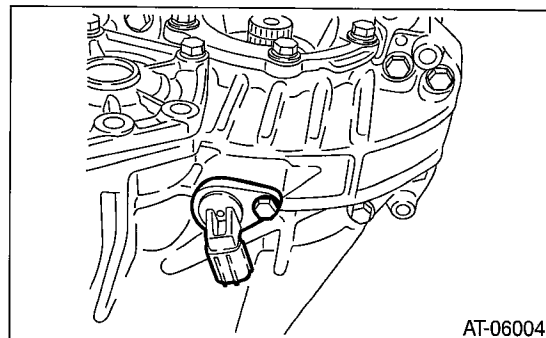
- 5) オイルクーラーパイプを取外す。



- 6) 車速センサープロテクターおよびハーネスブラケットを取外す。



- 7) 車速センサーを取外す。

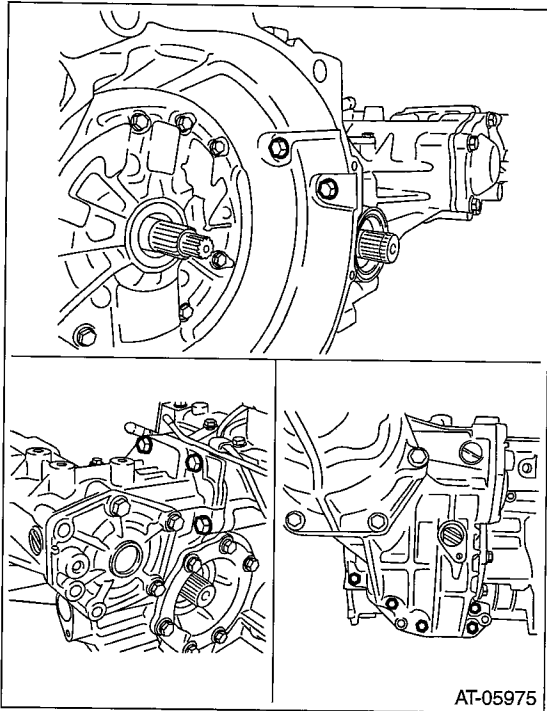


オートマチックトランスミッション

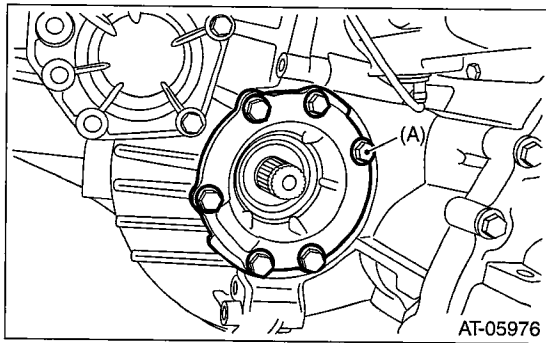
8) ボトムカバー取付けボルトを取外す。

参考:

コンバーターハウジング側にボルト 2 本あり。

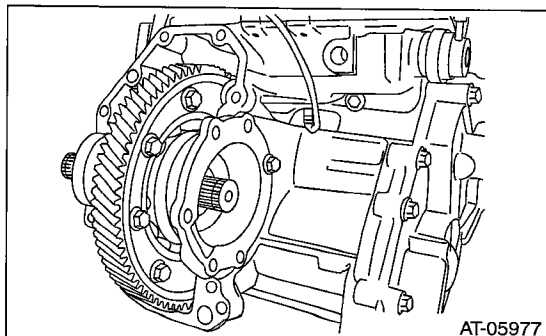


9) サイドベアリングハウジング取付けボルトを 1 本だけ残して取外す。

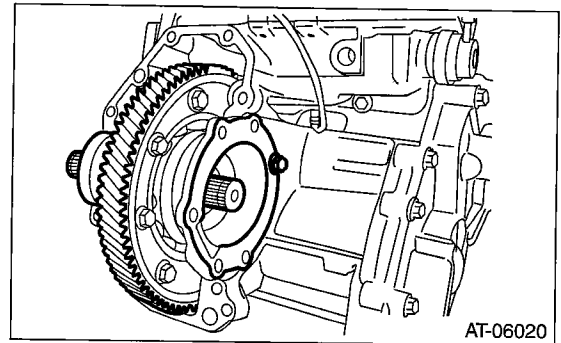


(A) 残すボルト

10) ボトムカバーを取外す。

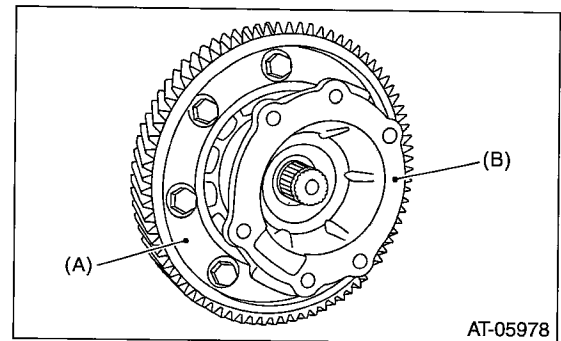


11) 残したボルトを外し、サイドベアリングハウジングとデファレンシャルASSYを一緒に取外す。



12) デファレンシャル両側のサークリップ、ダストシールおよびオイルシールを取外す。

13) デファレンシャル ASSY とサイドベアリングハウジングを分離する。

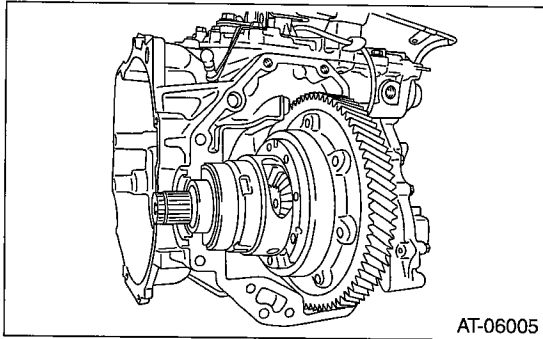


(A) デファレンシャルASSY

(B) サイドベアリングハウジング

B: 取付け

1) デファレンシャル ASSY をトランスミッションケースに取付ける。



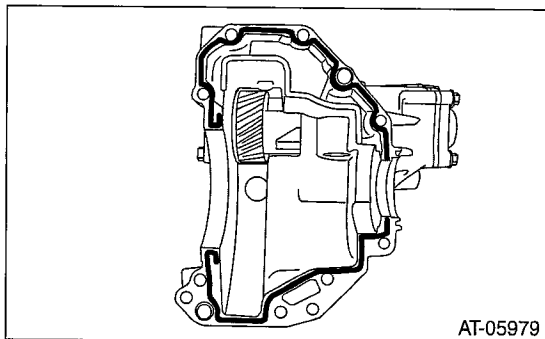
2) ボトムカバーに液体ガスケットを塗布し、トランスミッションケースに取付ける。

参考:

合わせ面の古いガスケットを取除き脱脂する。

液体ガスケット:

スリーボンド 1216B



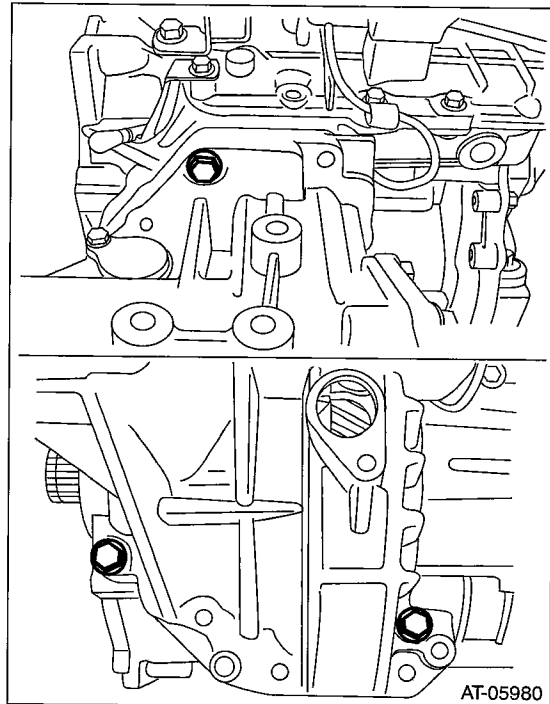
3) 取付けボルト 3 本を仮締めする。

仮締めトルク:

3.1 N·m (0.3 kgf-m, 2.3 ft-lb)

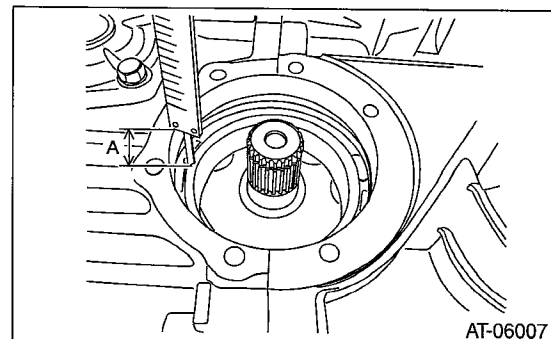
参考:

サイドベアリングハウジング取付け面に液体ガスケットがはみ出した場合、きれいに拭き取る。

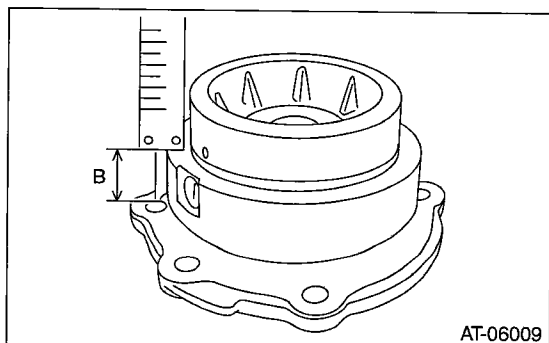


4) ワッシャーを選択し、サイドベアリングハウジングに取付ける。

(1) トランスミッションケースのサイドベアリングハウジング取付け面からボールベアリング端面までの深さ「A」を測定する。



- (2) サイドベアリングハウジングのトランスミッションケース取付け面からボールベアリング受面までの高さ「B」を測定する。



- (3) 手順 (1)、(2) からトランスミッションケースとデファレンシャル間のクリアランスを計算し、基準値内になるようワッシャーを0～3枚の間で調整する。

計算式：

$$\text{クリアランス mm (in)} = A - B$$

A：ケースのサイドベアリングハウジング取付け面からボールベアリング端面までの深さ

B：サイドベアリングハウジングのケース取付け面からボールベアリング受面までの高さ

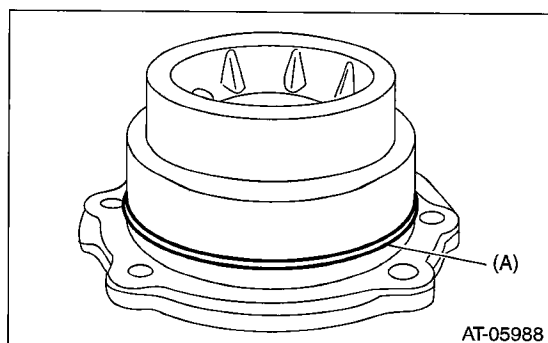
基準値：

0 ～ 0.2 mm (0 ～ 0.008 in)

- 5) サイドベアリングハウジングにOリングを取付ける。

参考：

新品のOリングを使用する。



(A) Oリング

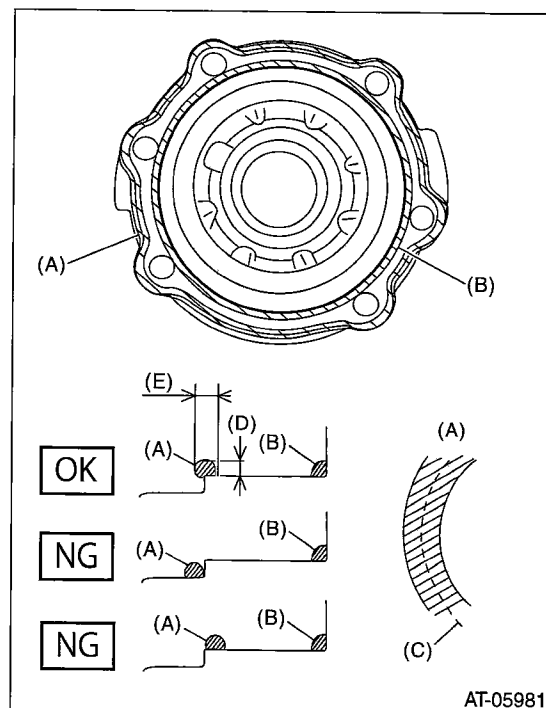
- 6) サイドベアリングハウジングに液体ガスケットを塗布する。

参考：

- 合わせ面の古いガスケットを取除き脱脂する。
- 外側花びら段差部分は、段差の中心に液体ガスケットを塗布する。
- 液体ガスケットの乾燥を防ぐため、塗布から締付け完了まで7分以内でおこなう。

液体ガスケット：

スリーボンド1216B



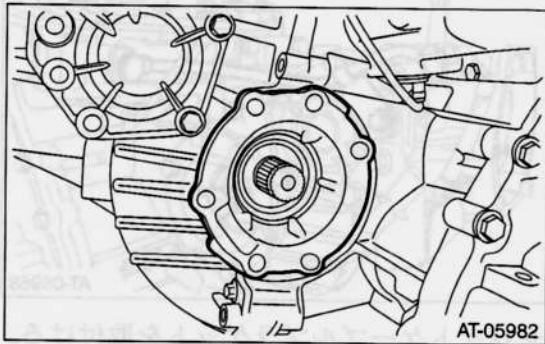
- (A) 外側花びら部
(B) 内側円周部
(C) 段差部分
(D) 2.5 mm (0.10 in)
(E) 5.5 mm (0.22 in)

オートマチックトランスミッション

7) サイドベアリングハウジングを取付ける。

参考:

ハンマーなどで叩かず両手で均等に押込む。



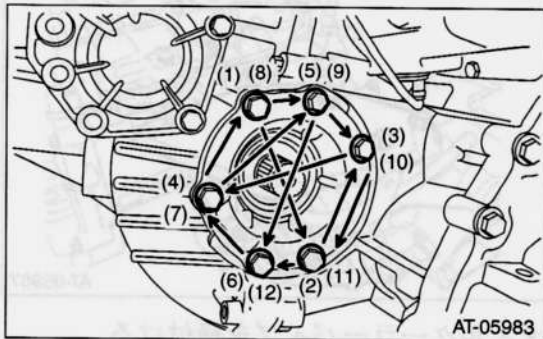
8) サイドベアリングハウジングを締付ける。

参考:

- 新品のボルトを使用する。
- イラストの締付け順序で2度締めする。

締付けトルク:

29 N·m (3.0 kgf·m, 21.4 ft·lb)



9) 一部の機種については、ボルト締め完了後 (A) 部に液体ガスケットを充填する。

液体ガスケット:

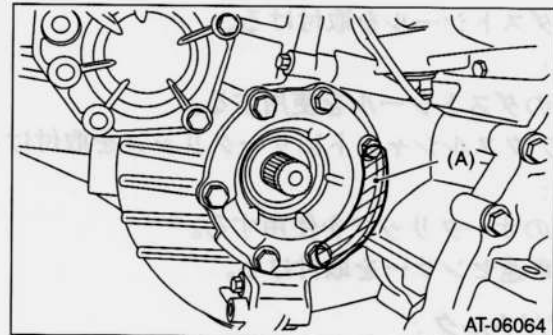
スリーボンド 1216B

液体ガスケット追加対象型式:

TA981KC1AA

TA981KB1AA

TA981KD1AA



(A) 液体ガスケット充填部位

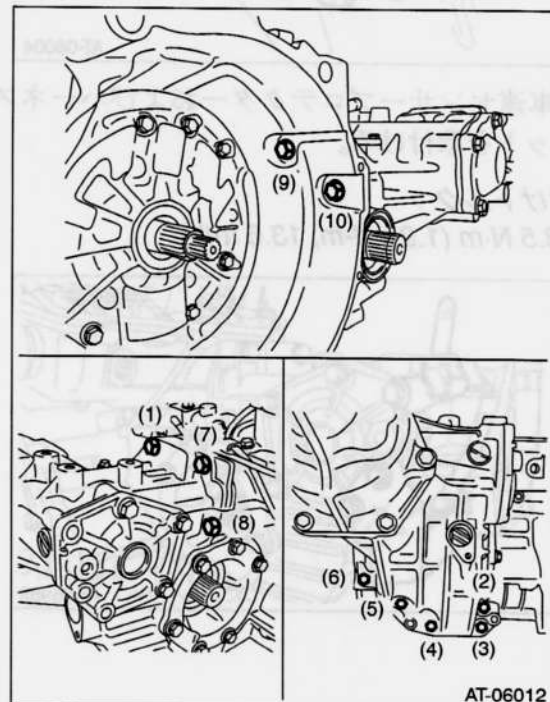
10) ボトムカバーを締付ける。

参考:

イラストの締付け順序で締付ける。

締付けトルク:

28 N·m (2.9 kgf·m, 20.7 ft·lb)



オートマチックトランスミッション

11) 特殊工具を使用して、ハンマーで少しずつ叩きながらデファレンシャルオイルシールを取付ける。

参考:

- 新品のオイルシールを使用する。
- 傷付防止のため、スプライン部にビニールテープを巻く。

特殊工具 18657AA020 オイルシールインストローラー

12) ダストシールを取付ける。

参考:

新品のダストシールを使用する。

13) アクスルシャフトにサークリップを取付ける。

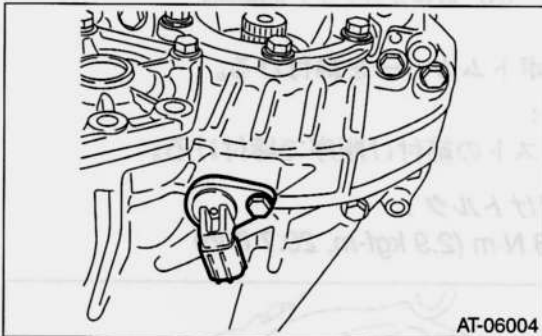
参考:

新品のサークリップを使用する。

14) 車速センサーを取付ける。

締付けトルク:

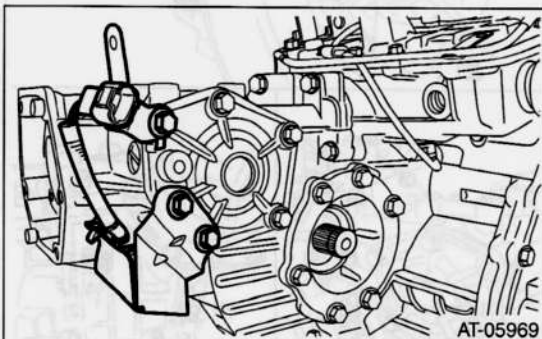
6.9 N·m (0.7 kgf-m, 5.1 ft-lb)



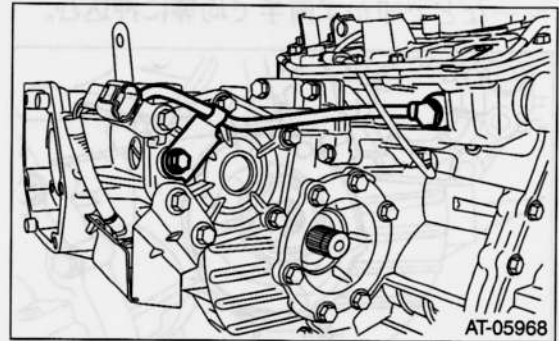
15) 車速センサープロテクターおよびハーネスブラケットを取付ける。

締付けトルク:

18.5 N·m (1.9 kgf-m, 13.6 ft-lb)



16) オイルクーラーパイプを取付け、ボルトを仮締めする。



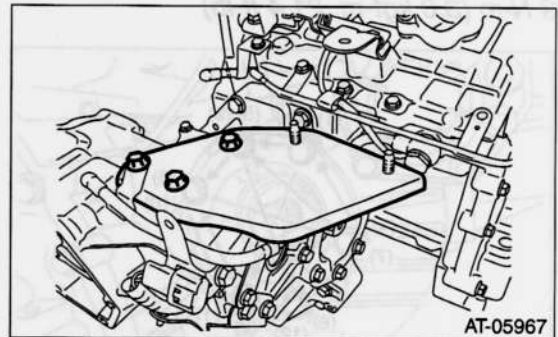
17) セレクトケーブルブラケットを取付ける。

参考:

オイルクーラーパイプ共締め部を締付けた後、他の2本を締付ける。

締付けトルク:

18.5 N·m (1.9 kgf-m, 13.6 ft-lb)

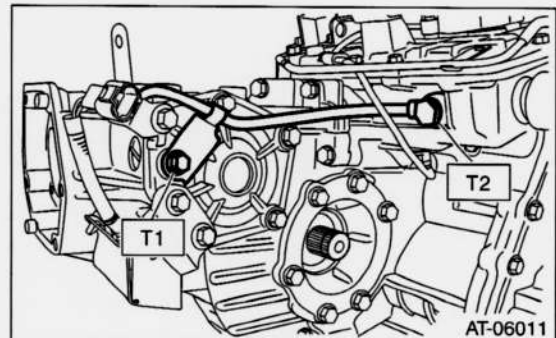


18) オイルクーラーパイプを締付ける。

締付けトルク:

T1 : 6.9 N·m (0.7 kgf-m, 5.1 ft-lb)

T2 : 29 N·m (3.0 kgf-m, 21.4 ft-lb)



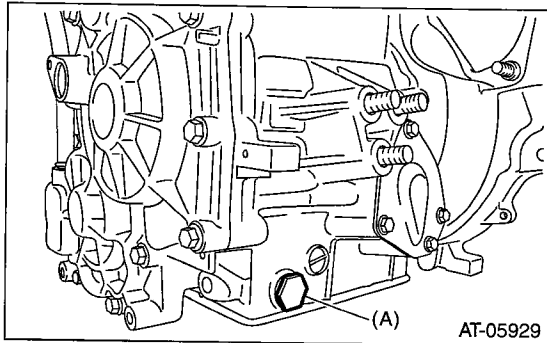
C: 点検

- デファレンシャルサイドギヤおよびデファレンシャルピニオンに損傷、磨耗、焼付きまたはその他の不具合がある場合、デファレンシャル ASSY を交換する。
- ボールベアリングがスムーズに回転しない、またはギヤオイルを塗布した後回転させると異音が発生する場合、デファレンシャル ASSY を交換する。

5 フロントクラッチ ASSY

A: 取外し

- 1) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。



(A) ドレインプラグ

- 2) ドレインプラグを取付ける。

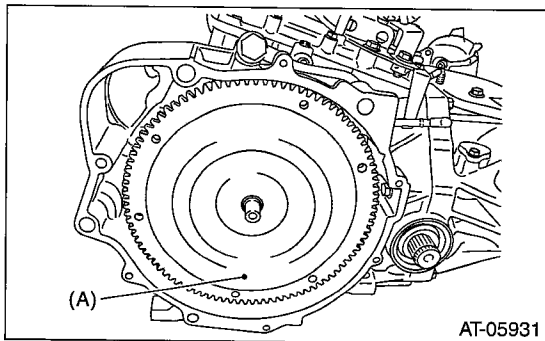
参考:

新品のガスケットを使用する。

締付けトルク:

46 N·m (4.7 kgf-m, 33.9 ft-lb)

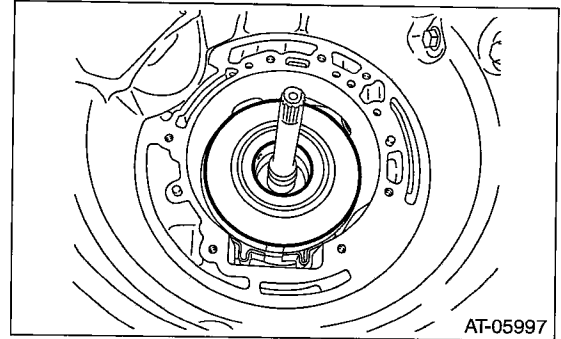
- 3) トルクコンバーターを取外す。



(A) トルクコンバーター

- 4) コンバーターハウジング面を上に向ける。
- 5) オイルポンプを取外す。(3-28 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取外し」を参照のこと。)
- 6) フロントクラッチ ASSY を取外す。
 - (1) ピストンシステムを 3 回転ゆるめる。(3-50 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取外し」を参照のこと。)

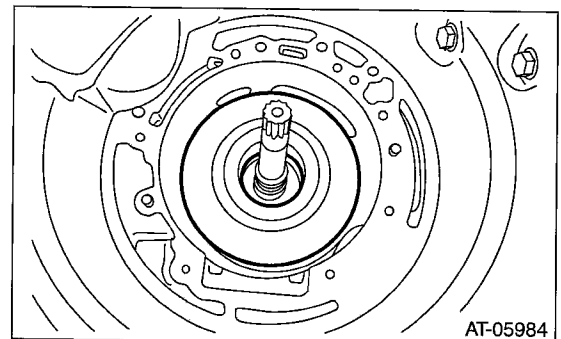
- (2) フロントクラッチ ASSY を取外す。



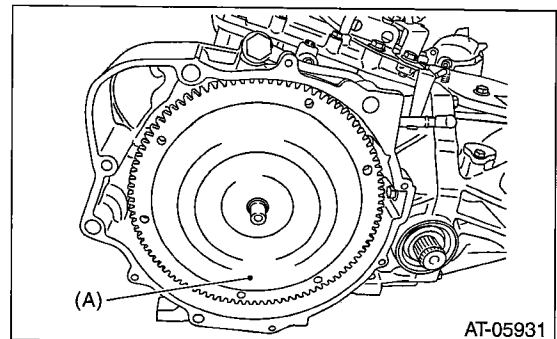
- 7) ブレーキバンドを取外す。(3-50 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取外し」を参照のこと。)

B: 取付け

- 1) フロントクラッチ ASSY を取付ける。



- 2) ブレーキバンドを取付ける。(3-52 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取付け」を参照のこと。)
- 3) オイルポンプを取付ける。(3-29 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取付け」を参照のこと。)
- 4) トルクコンバーターを取付ける。



(A) トルクコンバーター

C: 点検

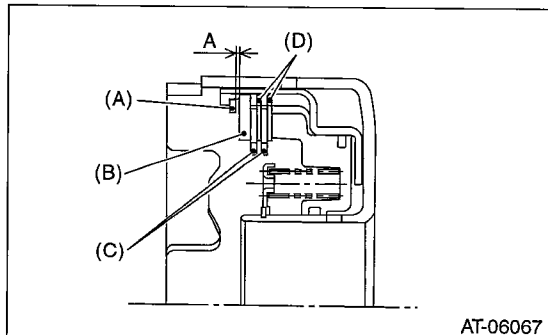
1) リテーニングプレートとスナップリング間のクリアランス「A」を測定する。クリアランスが使用限度を超える場合、フロントクラッチ ASSY を交換する。

使用限度値:

1.2 mm (0.047 in)

参考:

イラストは NA モデルである。

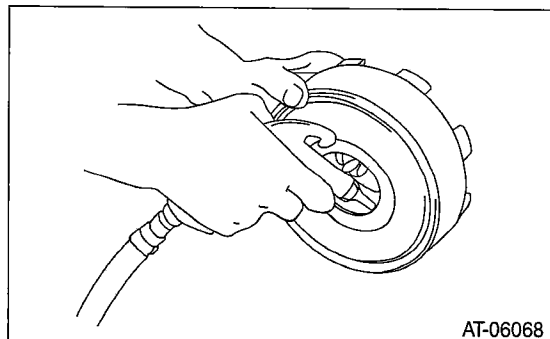


- (A) スナップリング
- (B) リテーニングプレート
- (C) ドライブプレート
- (D) ドリブプレート

2) フロントクラッチドラムのオイル通路から間欠的に圧縮エアを吹付け、ピストンの作動を点検する。ピストンが正常に作動しない場合、フロントクラッチ ASSY を交換する。

参考:

他の穴を塞いで圧縮エアを吹付ける。



D: 調整

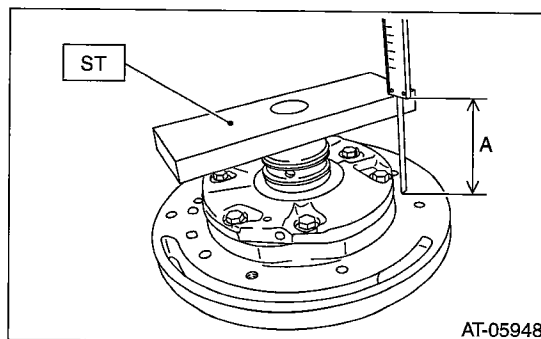
クラッチを交換した場合、エンドプレーを測定し規定値内になるよう調整する。

1) 特殊工具を使用して、オイルポンプ取付け面からベアリングレース上面までの高さ「A」を測定する。

参考:

測定はベアリングレースを取付けた状態でおこなう。

特殊工具 499575500 ゲージ

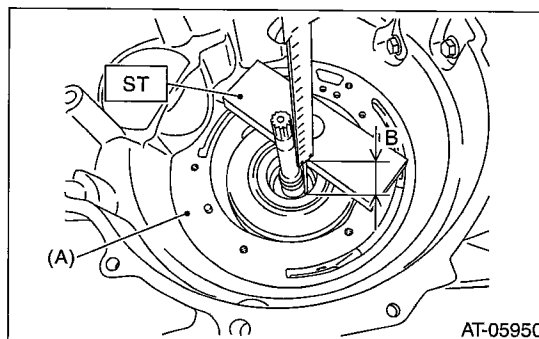


2) 特殊工具を使用して、トランスミッションケースのガスケット上面からスラストベアリング取付け面までの深さ「B」を測定する。

参考:

測定はガスケットを取付けた状態でおこなう。

特殊工具 499575500 ゲージ



- (A) ガスケット

オートマチックトランスミッション

3) 手順 1)、2) で測定した値から特殊工具の厚さおよびガスケットの縮み代を引いて計算した値が、規定値内になるようベアリングレースを選択する。

計算式：

$$\text{クリアランス} = (B - (15 + 0.1)) - (A - 15)$$

A：オイルポンプ取付け面からベアリングレース上面までの高さ

B：トランスミッションケースのガスケット上面からスラストベアリング取付け面までの深さ
(ゲージの厚さ：15 mm (0.59 in))

(ガスケットの縮み代：0.1 mm (0.004 in))

エンドプレー規定値：

0.25 ~ 0.55 mm (0.010 ~ 0.022 in)

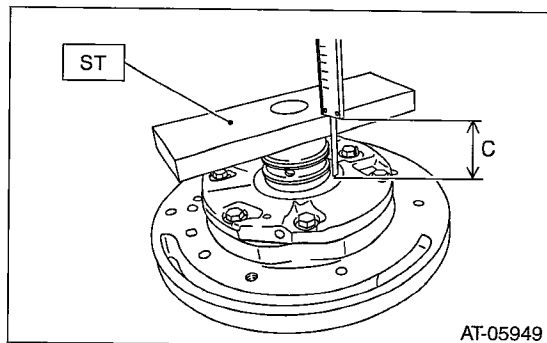
ベアリングレース	
部品番号	厚さ mm (in)
31077KA000	2.0 (0.079)
31077KA010	2.2 (0.087)
31077KA020	2.4 (0.094)
31077KA030	2.6 (0.102)
31077KA040	2.8 (0.110)
31077KA050	3.0 (0.118)

4) 特殊工具を使用して、スラストワッシャー取付け面からベアリングレース上面までの高さ「C」を測定する。

特殊工具 499575500 ゲージ

参考：

測定はベアリングレースを取付けた状態でおこなう。

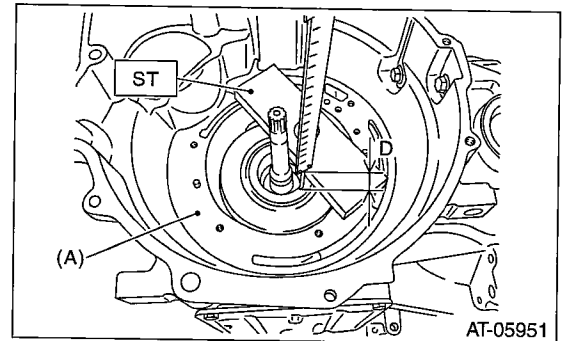


5) 特殊工具を使用して、トランスミッションケースのガスケット上面からスラストワッシャー受面までの深さ「D」を測定する。

参考：

測定は新品のガスケットを取付けた状態でおこなう。

特殊工具 499575500 ゲージ



(A) ガスケット

6) 手順 1) で測定した値から手順 4) で測定した値を引いて、オイルポンプ取付け面からスラストワッシャー取付け面までの高さ「E」を計算する。

計算式：

$$E = A - C$$

A：オイルポンプ取付け面からベアリングレース上面までの高さ

C：スラストワッシャー取付け面からベアリングレース上面までの高さ

7) 手順5)で測定した値から特殊工具の厚さおよびガスケットの縮み代を引いた値から、手順6)で計算した「E」を引いた値が、規定値内になるようスラストワッシャーを選択する。

計算式：

$$\text{クリアランス} = (D - (15 + 0.1)) - E$$

D：トランスミッションケースのガスケット上面からスラストワッシャー受面までの深さ

(ゲージの厚さ：15 mm (0.59 in))

(ガスケットの縮み代：0.1 mm (0.004 in))

E：オイルポンプ取付け面からスラストワッシャー取付け面までの高さ。

エンドプレー規定値：

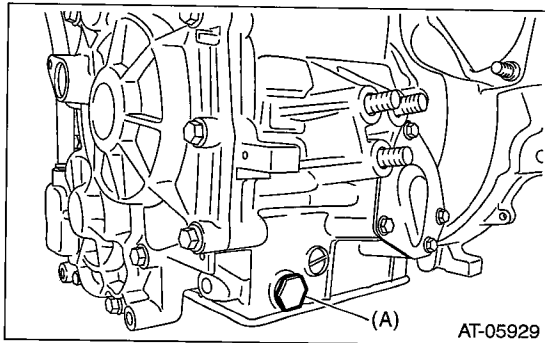
0.55 ~ 0.9 mm (0.022 ~ 0.035 in)

スラストワッシャー	
部品番号	厚さ mm (in)
803044011	1.2 (0.047)
803044012	1.4 (0.055)
803044013	1.6 (0.063)
803044014	1.8 (0.071)
803044015	2.0 (0.079)
803044016	2.2 (0.087)
803044017	2.4 (0.094)

6 フォワードクラッチ ASSY

A: 取外し

- 1) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。



(A) ドレインプラグ

- 2) ドレインプラグを取付ける。

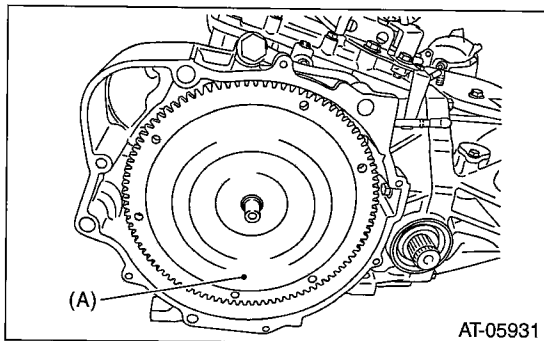
参考:

新品のガスケットを使用する。

締付けトルク:

46 N·m (4.7 kgf-m, 33.9 ft-lb)

- 3) トルクコンバーターを取外す。



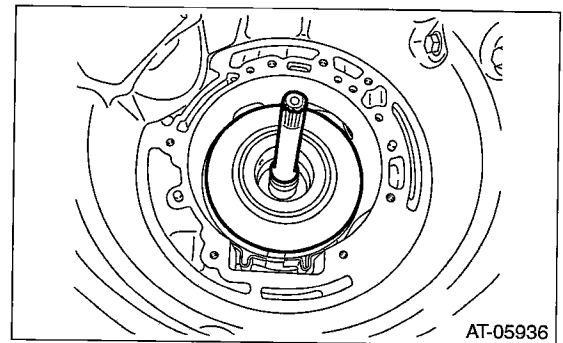
(A) トルクコンバーター

- 4) コンバーターハウジング面を上に向ける。
- 5) オイルポンプを取外す。(3-28 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取外し」を参照のこと。)

- 6) クラッチパックを取外す。

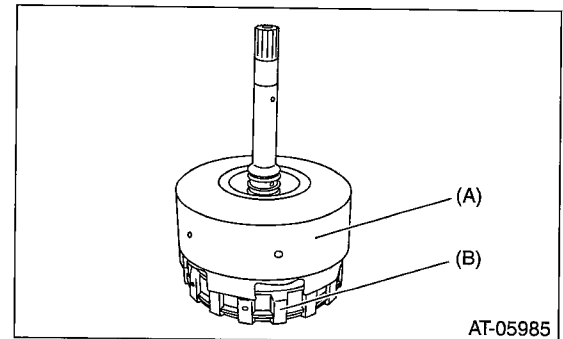
- (1) ピストンシステムを 3 回転ゆるめる。(3-50 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取外し」を参照のこと。)

- (2) インプットシャフトを持ち、クラッチパックを取外す。



- 7) ブレーキバンドを取外す。(3-50 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取外し」を参照のこと。)

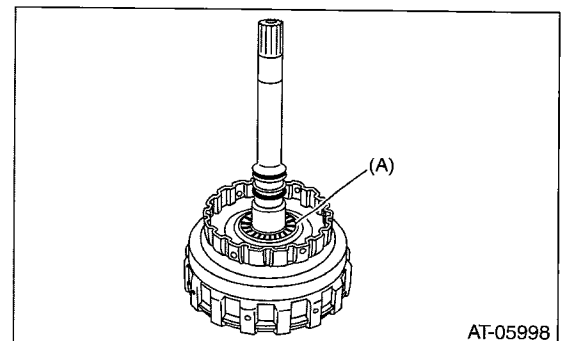
- 8) フロントクラッチ ASSY とフォワードクラッチ ASSY を分離する。



(A) フロントクラッチ ASSY

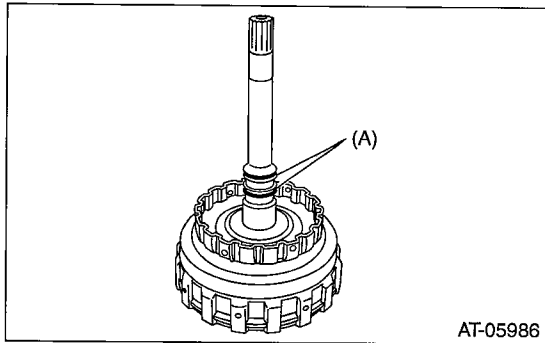
(B) フォワードクラッチ ASSY

- 9) スラストベアリングを取外す。



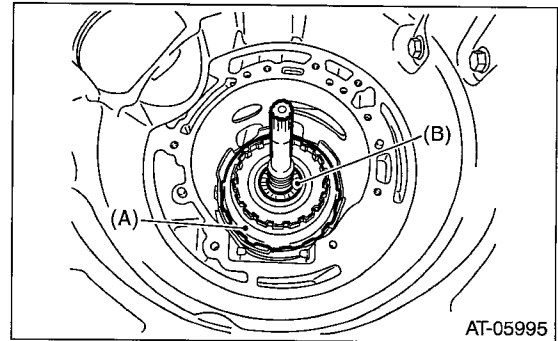
(A) スラストベアリング

10) インプットシャフトからシールリングを取外す。



(A) シールリング

3) フォワードクラッチ ASSY を取付ける。



(A) フォワードクラッチ ASSY

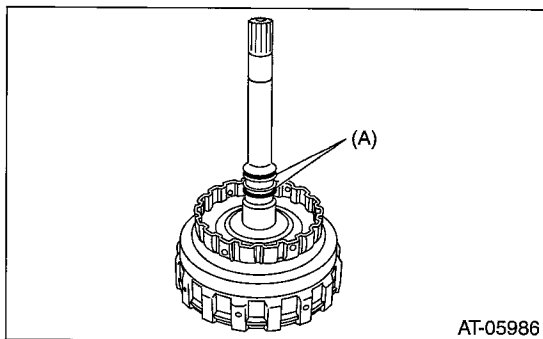
(B) スラストベアリング

B: 取付け

1) シールリングに ATF を塗布し、インプットシャフトに取付ける。

参考:

新品のシールリングを使用する。

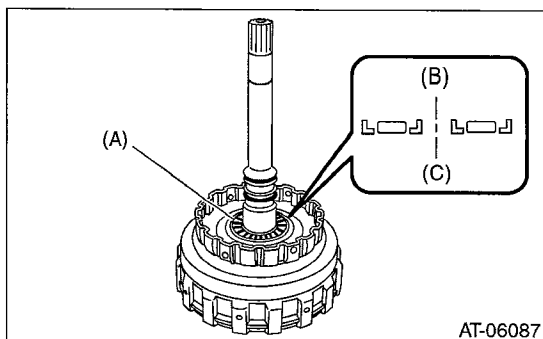


(A) シールリング

2) スラストベアリングを取付ける。

参考:

スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。

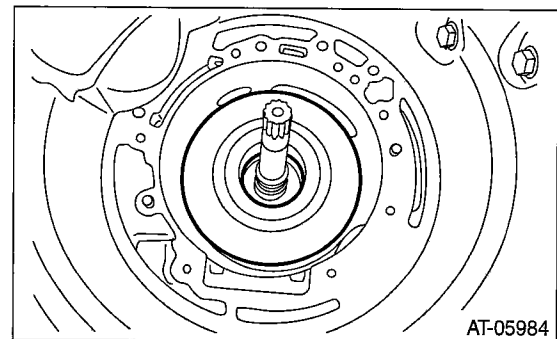


(A) スラストベアリング

(B) フロントクラッチ側

(C) フォワードクラッチ側

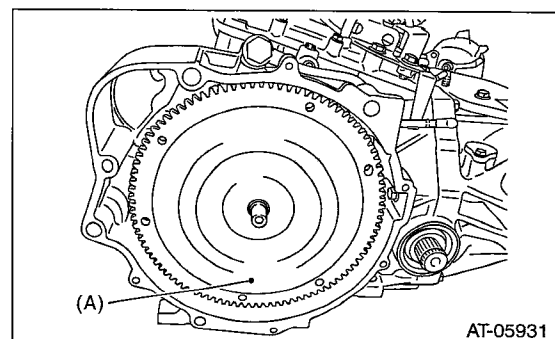
4) フロントクラッチ ASSY を取付ける。



5) ブレーキバンドを取付ける。(3-52 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取付け」を参照のこと。)

6) オイルポンプを取付ける。(3-29 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取付け」を参照のこと。)

7) トルクコンバーターを取付ける。



(A) トルクコンバーター

C: 点検

1) リテーニングプレートとスナップリング間のクリアランス「A」を測定する。クリアランスが使用限度を超える場合、フォワードクラッチ ASSY を交換する。

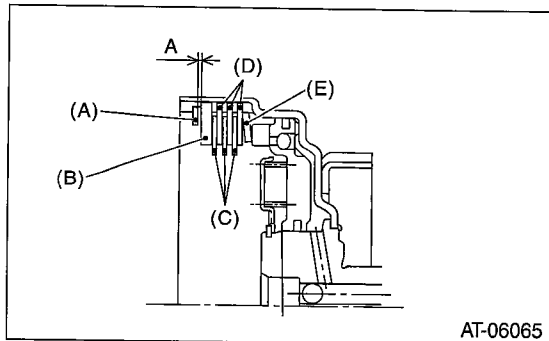
使用限度値:

NA モデル: 1.4 mm (0.055 in)

MSC モデル: 1.6 mm (0.063 in)

参考:

イラストは NA モデルである。

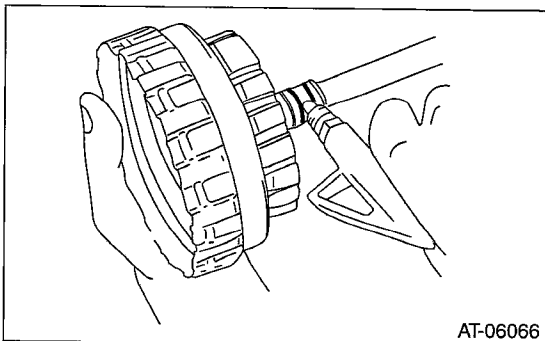


- (A) スナップリング
- (B) リテーニングプレート
- (C) ドライブプレート
- (D) ドライブプレート
- (E) ディッシュプレート

2) インพุットシャフトのオイル通路から間欠的に圧縮エアを吹付け、ピストンの作動を点検する。ピストンが正常に作動しない場合、フォワードクラッチ ASSY を交換する。

参考:

他の穴を塞いで圧縮エアを吹付ける。



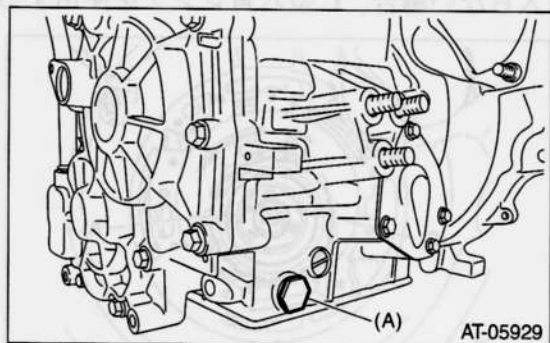
D: 調整

クラッチを交換した場合、エンドプレーを測定し規定値内になるよう調整する。(3-39 の「オートマチックトランスミッション、フロントクラッチ ASSY、調整」を参照のこと。)

7 ワンウェイクラッチ

A: 取外し

1) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。



(A) ドレインプラグ

2) ドレインプラグを取付ける。

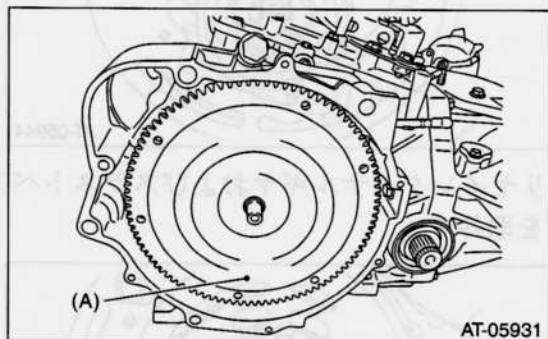
参考:

新品のガスケットを使用する。

締付けトルク:

46 N·m (4.7 kgf·m, 33.9 ft·lb)

3) トルクコンバーターを取外す。

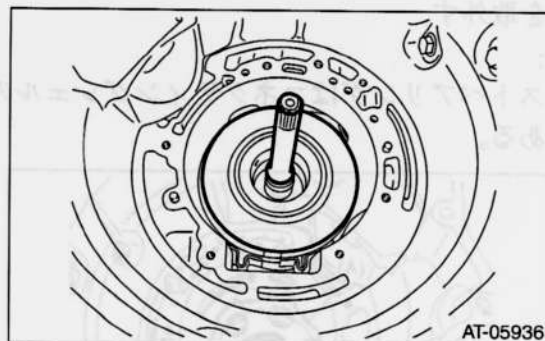


(A) トルクコンバーター

4) コンバーターハウジング面を上に向ける。

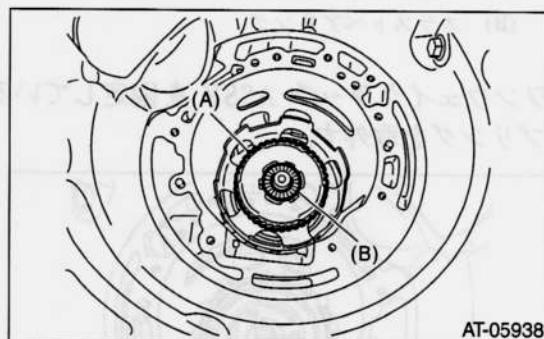
5) オイルポンプを取外す。(3-28 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取外し」を参照のこと。)

6) クラッチパックを取外す。



7) ブレーキバンドを取外す。(3-50 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取外し」を参照のこと。)

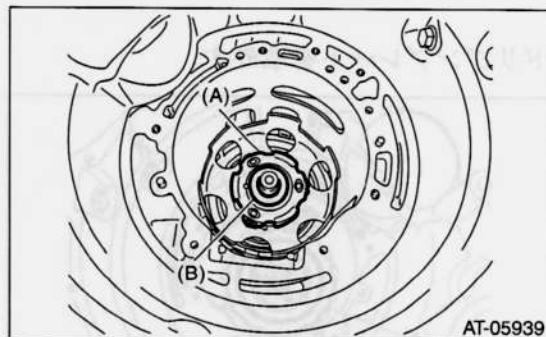
8) フロントインターナルギヤおよびスラストベアリングを取外す。



(A) フロントインターナルギヤ

(B) スラストベアリング

9) フロントプラネタリーキャリアおよびスラストベアリングを取外す。



(A) フロントプラネタリーキャリア

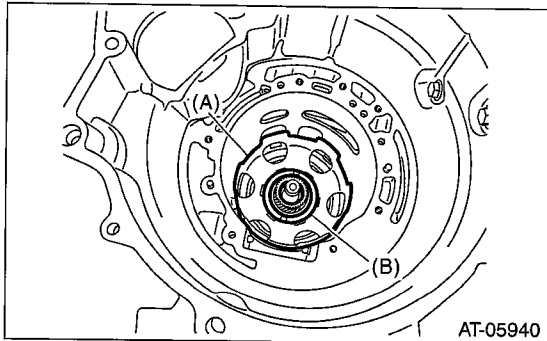
(B) スラストベアリング

オートマチックトランスミッション

10) コネクティングシェルおよびスラストベアリングを取外す。

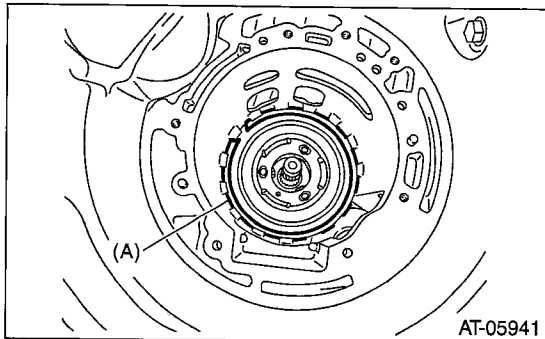
参考:

スラストベアリングはコネクティングシェルの上下にある。



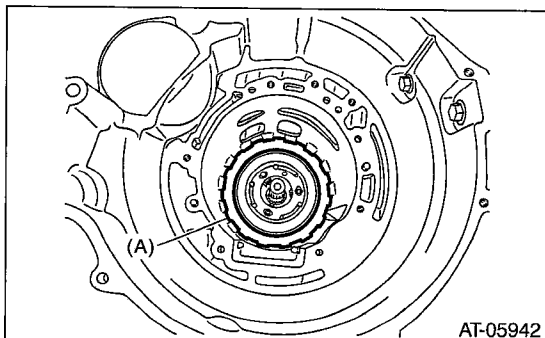
(A) コネクティングシェル
(B) スラストベアリング

11) ワンウェイクラッチ ASSY を固定しているスナップリングを取外す。



(A) スナップリング

12) ドリブンプレートを取外す。

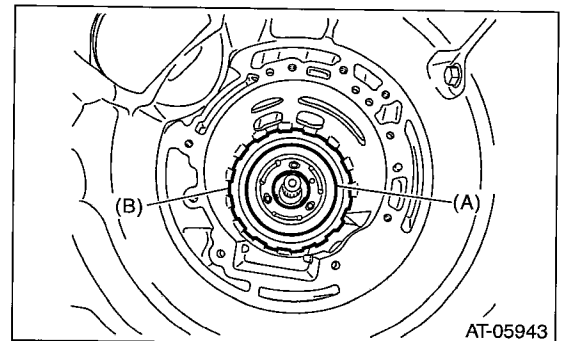


(A) ドリブンプレート

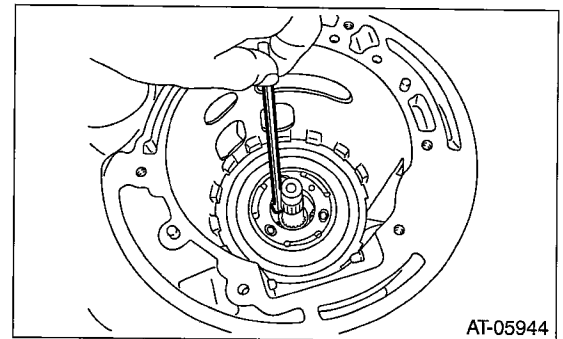
13) リヤプラネタリーキャリヤの内径に指をかけて持ち上げ、ワンウェイクラッチ ASSY と共に取外す。

参考:

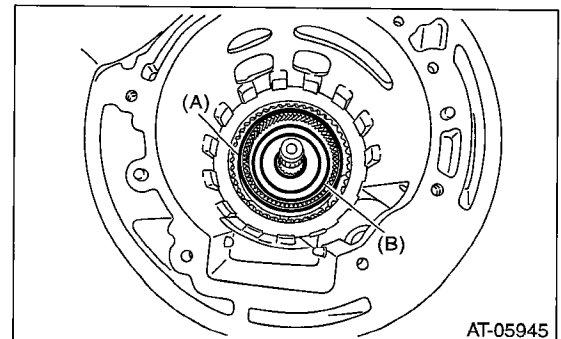
指が入らない場合、L 型六角レンチを使用する。



(A) リヤプラネタリーキャリヤ
(B) ワンウェイクラッチ ASSY



14) リヤインターナルギヤおよびスラストベアリングを取外す。



(A) リヤインターナルギヤ
(B) スラストベアリング

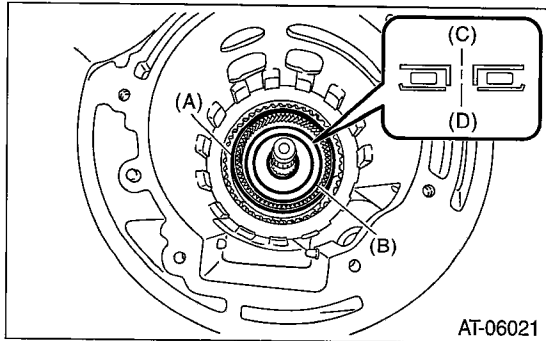
15) シャフトからシールリングを取外す。

B: 取付け

1) リヤインターナルギヤおよびスラストベアリングを取付ける。

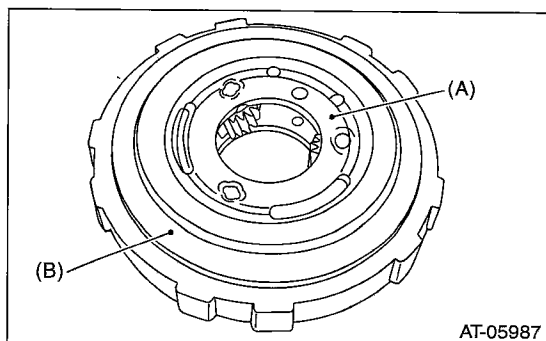
参考:

スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。



- (A) リヤインターナルギヤ
- (B) スラストベアリング
- (C) フロントクラッチ側
- (D) ロー & リバースブレーキ側

2) リヤプラネタリーキャリヤとワンウェイクラッチ ASSY を組付ける。

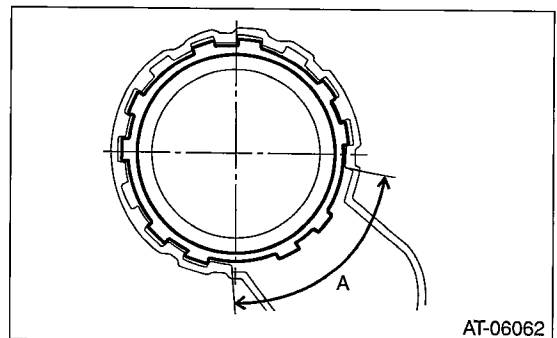
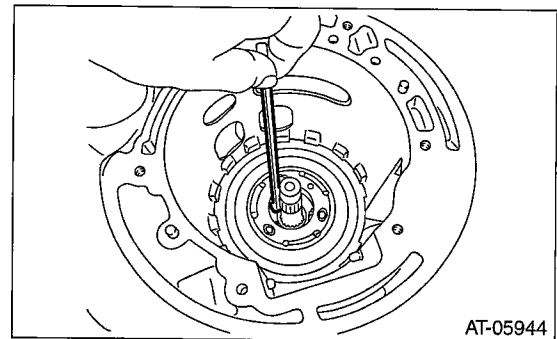


- (A) リヤプラネタリーキャリヤ
- (B) ワンウェイクラッチ ASSY

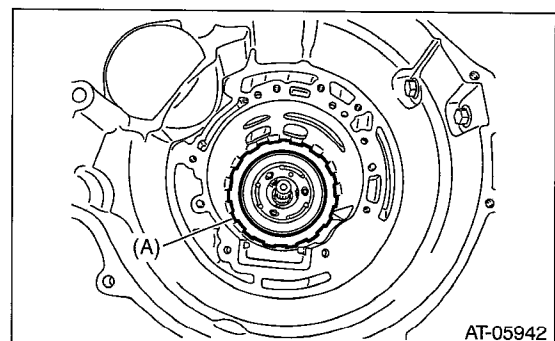
3) リヤプラネタリーキャリヤの内径に指をかけ、ワンウェイクラッチと共に取付ける。

参考:

- 指が入らない場合、L 型六角レンチを使用する。
- リヤプラネタリーキャリヤが時計回りには回転するが、反時計回りには回転しないことを確認する。
- アウターレースの歯、2 歯が「A」の範囲に入るよう組付ける。



4) ドリブンプレートを取付ける。



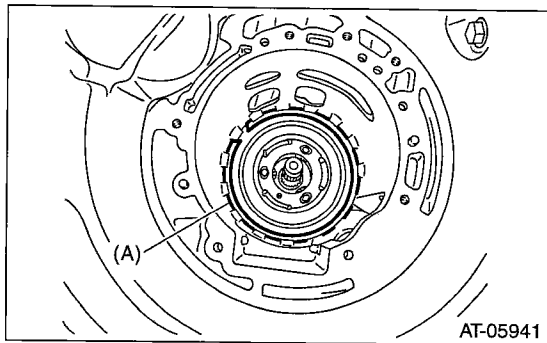
- (A) ドリブンプレート

オートマチックトランスミッション

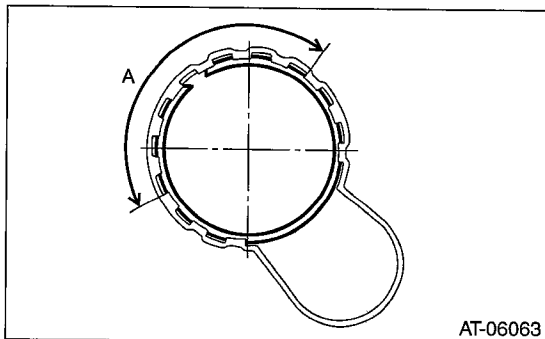
5) スナップリングを取付ける。

参考:

スナップリングの合口が「A」の範囲に入るよう取付ける。



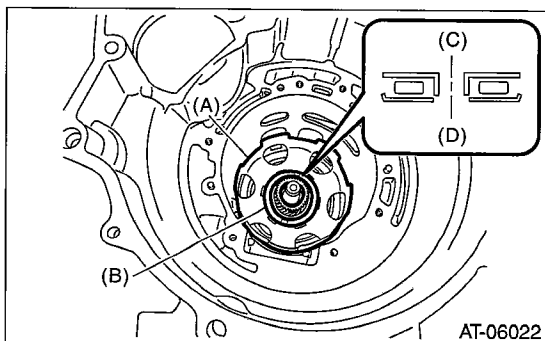
(A) スナップリング



6) コネクティングシェルおよびスラストベアリングを取付ける。

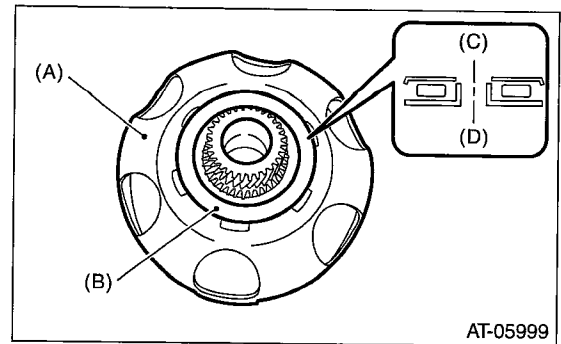
参考:

- スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。



(A) コネクティングシェル
(B) スラストベアリング
(C) フロントクラッチ側
(D) ロー & リバースブレーキ側

- スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。

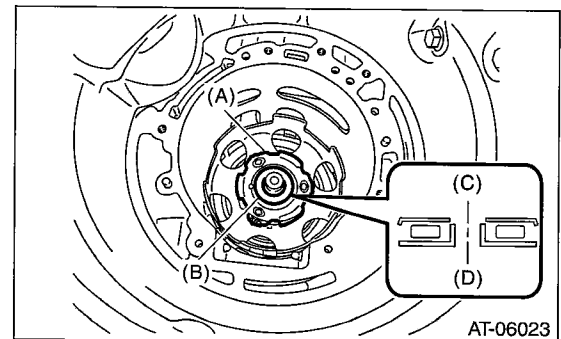


(A) コネクティングシェル
(B) スラストベアリング
(C) フロントクラッチ側
(D) ロー & リバースブレーキ側

7) フロントプラネタリーキャリアおよびスラストベアリングを取付ける。

参考:

スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。

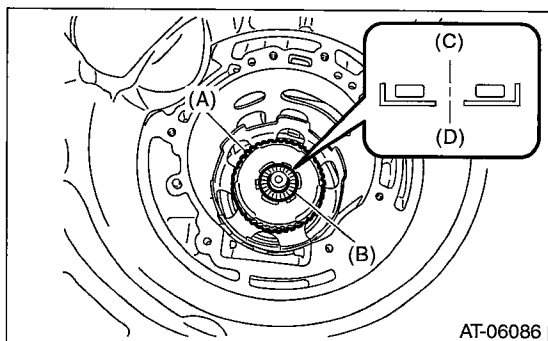


(A) フロントプラネタリーキャリア
(B) スラストベアリング
(C) フロントクラッチ側
(D) ロー & リバースブレーキ側

8) フロントインターナルギヤおよびスラストベアリングを取付ける。

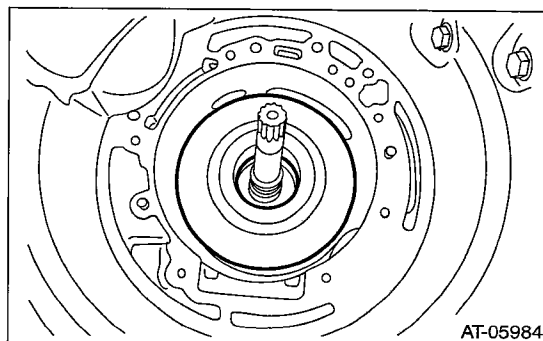
参考:

スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。



- (A) フロントインターナルギヤ
- (B) スラストベアリング
- (C) フォワードクラッチ側
- (D) フロントインターナルギヤ側

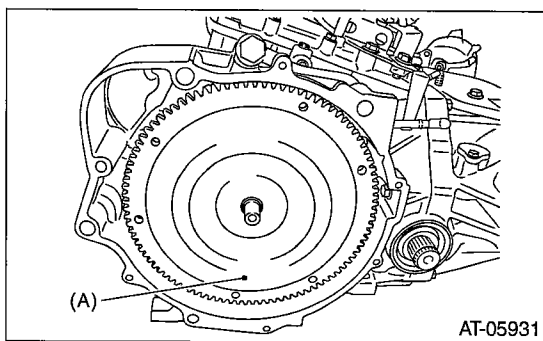
11) フロントクラッチ ASSY を取付ける。



12) ブレーキバンドを取付ける。(3-52 の「オートマチックトランスミッション、ブレーキバンド、取付け」を参照のこと。)

13) オイルポンプを取付ける。(3-29 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取付け」を参照のこと。)

14) トルクコンバーターを取付ける。



- (A) トルクコンバーター

9) シャフトにシールリングを取付ける。

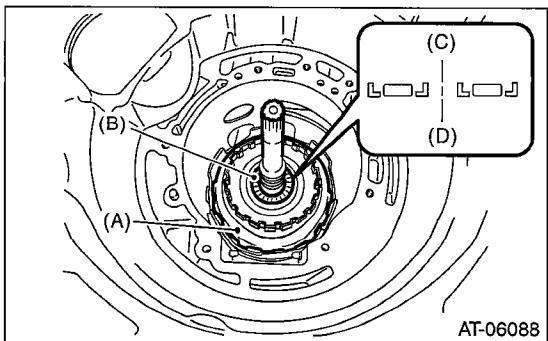
参考:

- 新品のシールリングを使用する。
- シールリングに ATF を塗布する。

10) フォワードクラッチ ASSY およびスラストベアリングを取付ける。

参考:

スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。



- (A) フォワードクラッチ ASSY
- (B) スラストベアリング
- (C) フロントクラッチ側
- (D) フォワードクラッチ側

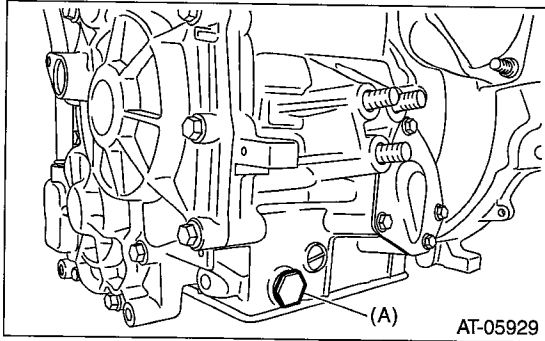
C: 点検

- スプラグに傷付き、損傷、破損、過度の摩耗またはその他の不具合がある場合、ワンウェイクラッチ ASSY を交換する。
- リボンスプリングに破損、損傷またはその他の不具合がある場合、ワンウェイクラッチ ASSY を交換する。
- リヤプラネタリーキャリアが時計回りには回転するが、反時計回りには回転しないことを確認する。

8 ブレーキバンド

A: 取外し

1) ドレインプラグを取外し ATF を抜取る。



(A) ドレインプラグ

2) ドレインプラグを取付ける。

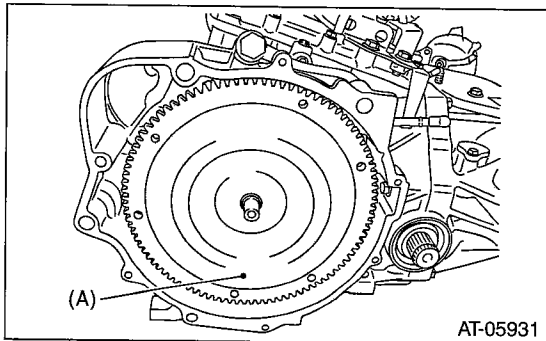
参考:

新品のガスケットを使用する。

締付けトルク:

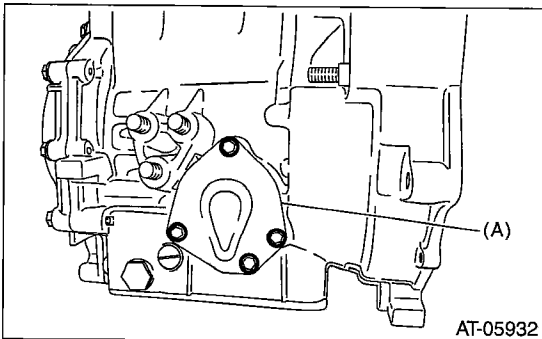
46 N·m (4.7 kgf-m, 33.9 ft-lb)

3) トルクコンバーターを取外す。



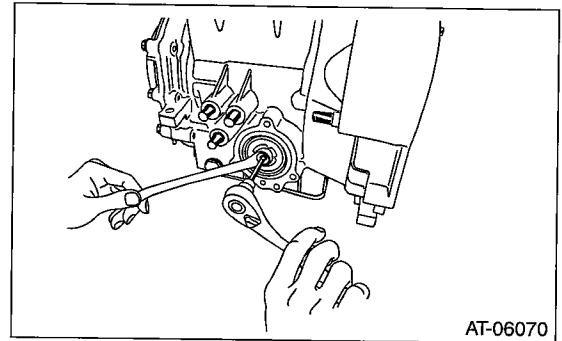
(A) トルクコンバーター

4) サーボピストンカバーを取外す。



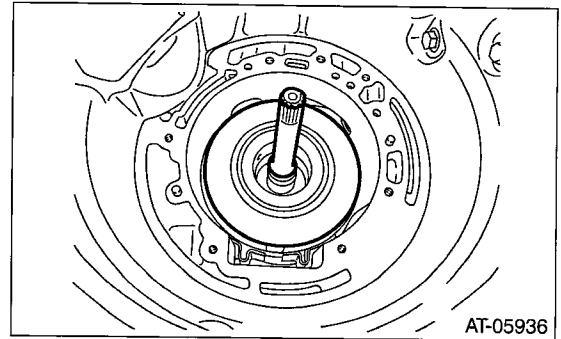
(A) サーボピストンカバー

5) ピストンステムロックナットをゆるめ、ピストンステムを3回転ゆるめる。



6) オイルポンプを取外す。(3-28 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取外し」を参照のこと。)

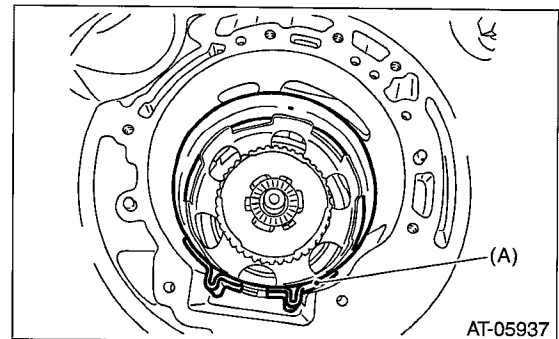
7) インプットシャフトを持ち、クラッチパックを取外す。



8) ブレーキバンドを取外す。

参考:

ブレーキバンドを広げるとフェーシング面がひび割れる場合があるため、ゼムクリップなどを使用して広がらないようにする。



(A) ブレーキバンド

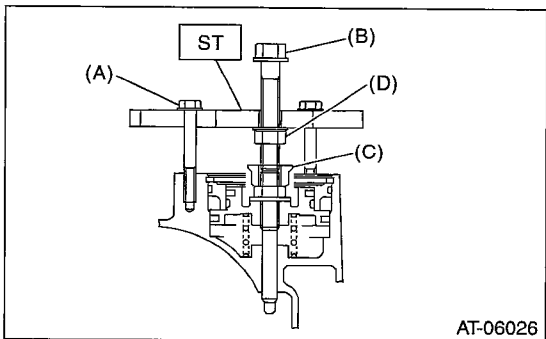
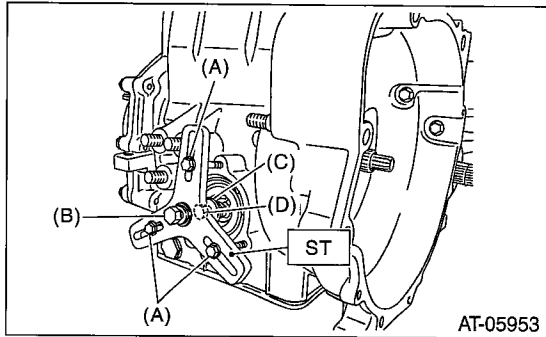
オートマチックトランスミッション

9) 特殊工具、ボルトおよびナットをサーボピストンにセットする。

参考:

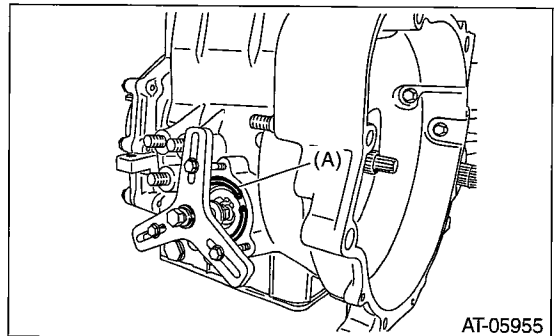
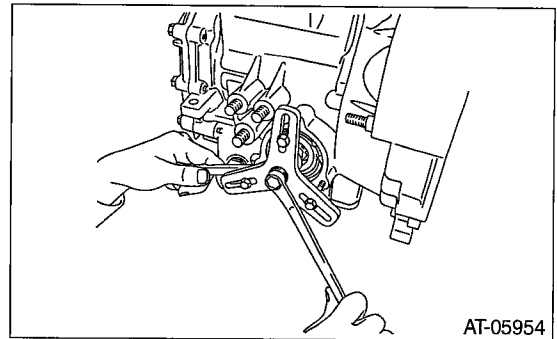
特殊工具 (コンプレッサー) はプレートのみ使用する。

特殊工具 18762AA000 コンプレッサー
ボルト M6 × 50 (3 本)、M10 × 60 (1 本)、
ナット M10&M12 (各 1 個)



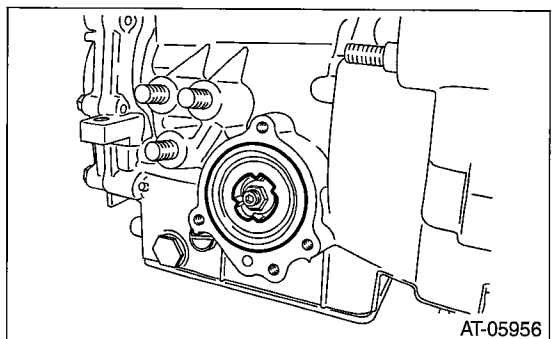
- (A) ボルト (M6 × 50)
- (B) ボルト (M10 × 60)
- (C) ナット (M12)
- (D) ナット (M10)

10) 内側のナットをスパナで固定し、外側のボルトを締めこむ。サーボピストンが押されてスナップリングが取外し可能な位置になるまでボルトを締めこみ、スナップリングを取外す。

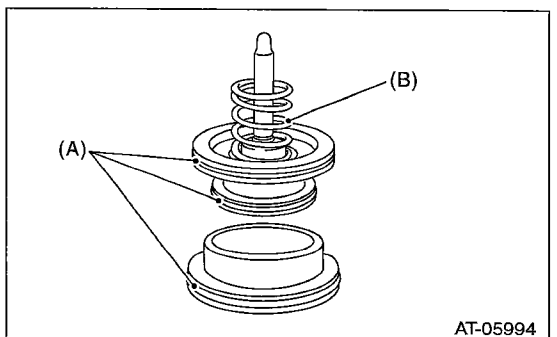


(A) スナップリング

11) サーボピストンを取外す。



12) サーボピストンからシールリングおよびリターンズpringを取外す。



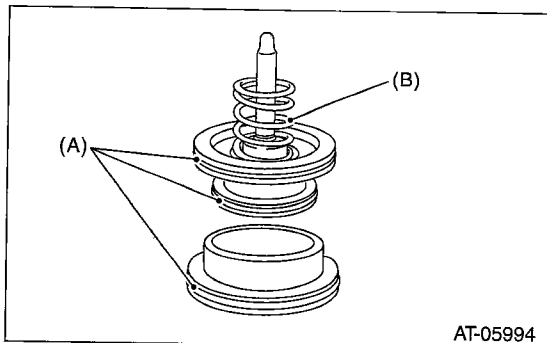
- (A) シールリング
- (B) リターンズpring

B: 取付け

1) シールリングにATFを塗布しサーボピストンに取付ける。

参考:

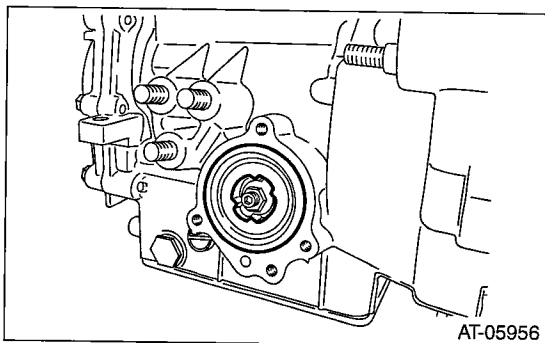
新品のシールリングを使用する。



(A) シールリング

(B) リターンスプリング

2) サーボピストンを取付ける。



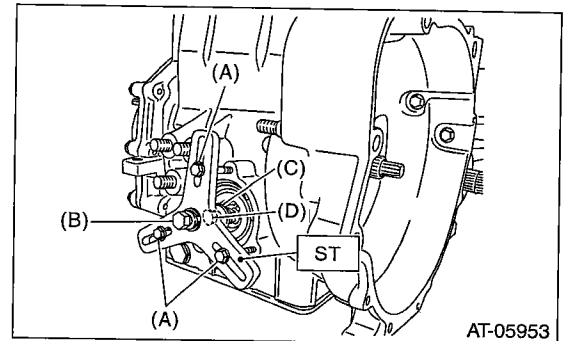
3) 特殊工具、ボルトおよびナットをサーボピストンにセットする。

参考:

特殊工具 (コンプレッサー) はプレートのみ使用する。

特殊工具 18762AA000 コンプレッサー

ボルト M6 × 50 (3 本)、M10 × 60 (1 本)、
ナット M10&M12 (各 1 個)



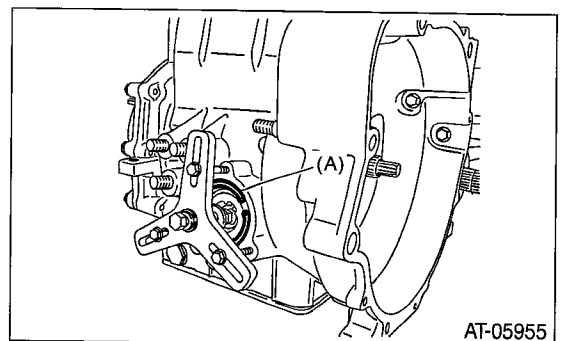
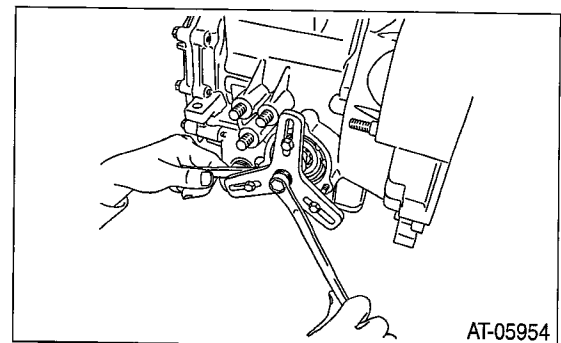
(A) ボルト (M6 × 50)

(B) ボルト (M10 × 60)

(C) ナット (M12)

(D) ナット (M10)

4) 内側のナットをスパナで固定し、外側のボルトを締めこむ。サーボピストンが押されてスナップリングが取付け可能な位置になるまでボルトを締めこみ、スナップリングを取付ける。

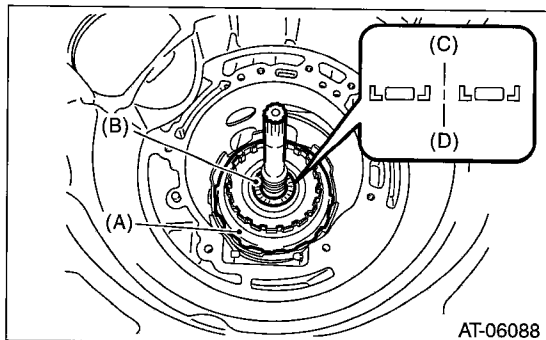


(A) スナップリング

5) フォワードクラッチ ASSY およびスラストベアリングを取付ける。

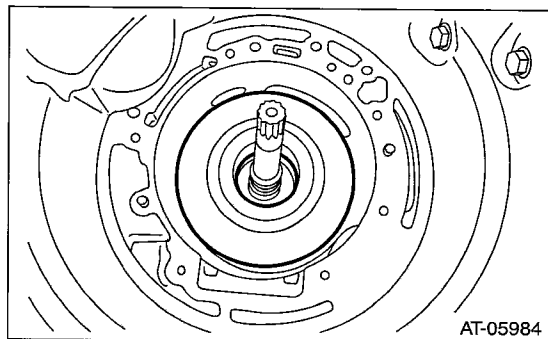
参考:

スラストベアリングの向きを間違えないよう取付ける。

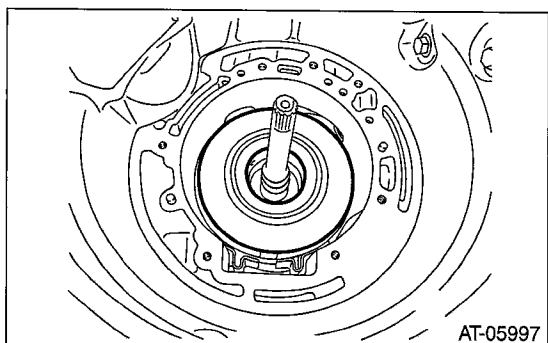


- (A) フォワードクラッチ ASSY
- (B) スラストベアリング
- (C) フロントクラッチ側
- (D) フォワードクラッチ側

6) フロントクラッチ ASSY を取付ける。



7) ブレーキバンドを取付ける。



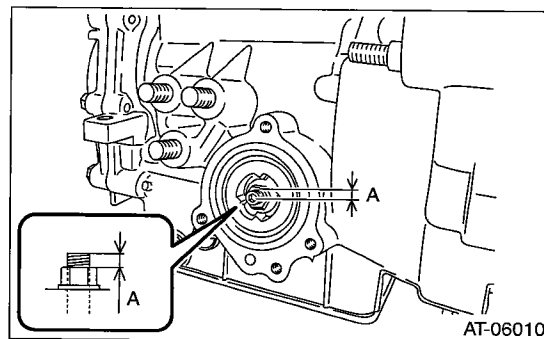
8) オイルポンプを取付ける。(3-29 の「オートマチックトランスミッション、オイルポンプ、取付け」を参照のこと。)

9) サーボピストンを調整する。

- (1) ピストンステムロックナットをゆるめる。
- (2) ピストンステムを $2.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($0.3 \text{ kgf}\cdot\text{m}$, $1.8 \text{ ft}\cdot\text{lb}$) で締付け、2.5 回転戻す。
- (3) ピストンステムロックナットを $18.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.9 \text{ kgf}\cdot\text{m}$, $13.6 \text{ ft}\cdot\text{lb}$) で締付ける。
- (4) ピストンシステムの出代「A」を点検する。

基準値:

ロックナットの頭面から $6.0 \sim 8.5 \text{ mm}$ ($0.24 \sim 0.33 \text{ in}$)



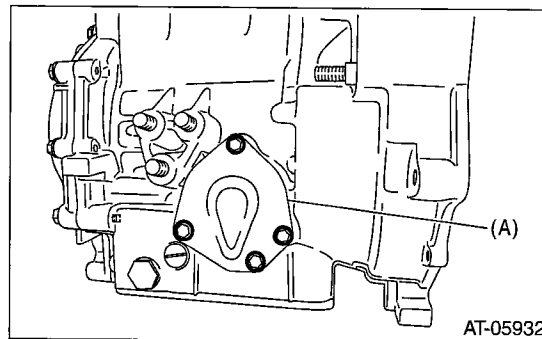
10) サーボピストンカバーを取付ける。

参考:

新品のガスケットを使用する。

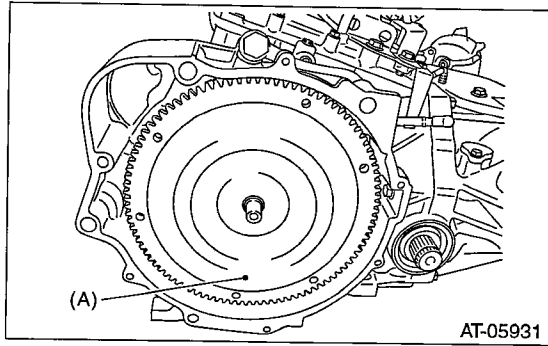
締付けトルク:

$6.9 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($0.7 \text{ kgf}\cdot\text{m}$, $5.1 \text{ ft}\cdot\text{lb}$)



(A) サーボピストンカバー

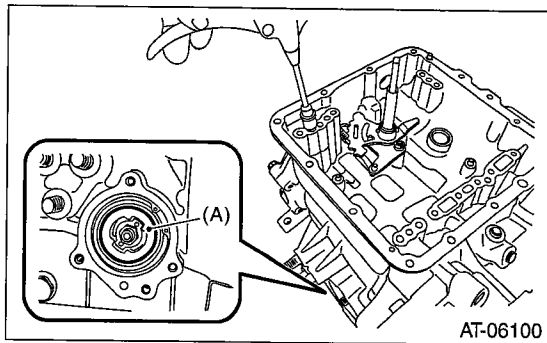
11) トルクコンバーターを取付ける。



(A) トルクコンバーター

C: 点検

- ブレーキバンドのフェーシング面にひび割れ、亀裂、焼付き、過度の摩耗またはその他の不具合がないか点検する。
- コントロールバルブを取外し、トランスミッションのオイル通路から間欠的に圧縮エアを吹付け、サーボピストンの作動を点検する。



(A) サーボピストン